臺灣新民報 夕刊 十二月十九日 昭和十年十二月二十日（水曜日） 第一万四千二百八十四號

米國の覺醒に期待
國交の調整に奮闘

【東京十九日發同盟】野村外相は日米國交打開の重大使命の下に十八日のグルー大使との會談で近く出京の途に就くことになり、また滯在中も國交の調整を考慮中であるが留の貴大提言を行ったがその際野村外相は
日本當局はアメリカの態度であり從つて兩大國が友好關係を永續としく希望するからには枝葉に拘泥せず大局的見地に立ち兩國の親善關係が太平洋の平和に對する唯一の保障であり太平洋の平和こそ世界平和の最大支柱となることに想到されたい、支那事變發生に際しては帝國政府がその實に忠實に誠意すべきものは當然履行する決心であるから國として我方の誠意に信賴されたい、またアメリカ側提示の原則上の諸點に關しても帝國政府次の言明に依り滿足の意を表明した
一、帝國政府は日米國交調整の根本義として東亞の平和維持に關し米國政府と緊密なる協力を欲するものなること
二、帝國政府は日米國交調整の根本義として門戸開放機會均等の原則を支持するものなること
三、帝國政府は日米國交調整の根本義として支那に於ける一切の國際的經濟活動に關し列國と協調を保つべきものなること
四、帝國政府は日米國交調整の根本義として支那の領土保全を尊重するものなること
五、帝國政府は日米國交調整の根本義として支那に於ける一切の國際的經濟活動に關し列國と協調を保つべきものなること
六、帝國政府は日米國交調整の根本義として支那の領土保全を尊重するものなること
七、帝國政府は日米國交調整の根本義として支那に於ける一切の國際的經濟活動に關し列國と協調を保つべきものなること
八、帝國政府は日米國交調整の根本義として支那の領土保全を尊重するものなること
九、帝國政府は日米國交調整の根本義として支那に於ける一切の國際的經濟活動に關し列國と協調を保つべきものなること
十、帝國政府は日米國交調整の根本義として支那の領土保全を尊重するものなること
十一、帝國政府は日米國交調整の根本義として支那に於ける一切の國際的經濟活動に關し列國と協調を保つべきものなること
十二、帝國政府は日米國交調整の根本義として支那の領土保全を尊重するものなること
十三、帝國政府は日米國交調整の根本義として支那に於ける一切の國際的經濟活動に關し列國と協調を保つべきものなること
十四、帝國政府は日米國交調整の根本義として支那の領土保全を尊重するものなること
十五、帝國政府は日米國交調整の根本義として支那に於ける一切の國際的經濟活動に關し列國と協調を保つべきものなること
十六、帝國政府は日米國交調整の根本義として支那の領土保全を尊重するものなること
十七、帝國政府は日米國交調整の根本義として支那に於ける一切の國際的經濟活動に關し列國と協調を保つべきものなること
十八、帝國政府は日米國交調整の根本義として支那の領土保全を尊重するものなること
十九、帝國政府は日米國交調整の根本義として支那に於ける一切の國際的經濟活動に關し列國と協調を保つべきものなること
二十、帝國政府は日米國交調整の根本義として支那の領土保全を尊重するものなること
二十一、帝國政府は日米國交調整の根本義として支那に於ける一切の國際的經濟活動に關し列國と協調を保つべきものなること
二十二、帝國政府は日米國交調整の根本義として支那の領土保全を尊重するものなること
二十三、帝國政府は日米國交調整の根本義として支那に於ける一切の國際的經濟活動に關し列國と協調を保つべきものなること
二十四、帝國政府は日米國交調整の根本義として支那の領土保全を尊重するものなること
二十五、帝國政府は日米國交調整の根本義として支那に於ける一切の國際的經濟活動に關し列國と協調を保つべきものなること
二十六、帝國政府は日米國交調整の根本義として支那の領土保全を尊重するものなること
二十七、帝國政府は日米國交調整の根本義として支那に於ける一切の國際的經濟活動に關し列國と協調を保つべきものなること
二十八、帝國政府は日米國交調整の根本義として支那の領土保全を尊重するものなること
二十九、帝國政府は日米國交調整の根本義として支那に於ける一切の國際的經濟活動に關し列國と協調を保つべきものなること
三十、帝國政府は日米國交調整の根本義として支那の領土保全を尊重するものなること
三十一、帝國政府は日米國交調整の根本義として支那に於ける一切の國際的經濟活動に關し列國と協調を保つべきものなること
三十二、帝國政府は日米國交調整の根本義として支那の領土保全を尊重するものなること
三十三、帝國政府は日米國交調整の根本義として支那に於ける一切の國際的經濟活動に關し列國と協調を保つべきものなること
三十四、帝國政府は日米國交調整の根本義として支那の領土保全を尊重するものなること
三十五、帝國政府は日米國交調整の根本義として支那に於ける一切の國際的經濟活動に關し列國と協調を保つべきものなること
三十六、帝國政府は日米國交調整の根本義として支那の領土保全を尊重するものなること
三十七、帝國政府は日米國交調整の根本義として支那に於ける一切の國際的經濟活動に關し列國と協調を保つべきものなること
三十八、帝國政府は日米國交調整の根本義として支那の領土保全を尊重するものなること
三十九、帝國政府は日米國交調整の根本義として支那に於ける一切の國際的經濟活動に關し列國と協調を保つべきものなること
四十、帝國政府は日米國交調整の根本義として支那の領土保全を尊重するものなること
四十一、帝國政府は日米國交調整の根本義として支那に於ける一切の國際的經濟活動に關し列國と協調を保つべきものなること
四十二、帝國政府は日米國交調整の根本義として支那の領土保全を尊重するものなること
四十三、帝國政府は日米國交調整の根本義として支那に於ける一切の國際的經濟活動に關し列國と協調を保つべきものなること
四十四、帝國政府は日米國交調整の根本義として支那の領土保全を尊重するものなること
四十五、帝國政府は日米國交調整の根本義として支那に於ける一切の國際的經濟活動に關し列國と協調を保つべきものなること
四十六、帝國政府は日米國交調整の根本義として支那の領土保全を尊重するものなること
四十七、帝國政府は日米國交調整の根本義として支那に於ける一切の國際的經濟活動に關し列國と協調を保つべきものなること
四十八、帝國政府は日米國交調整の根本義として支那の領土保全を尊重するものなること
四十九、帝國政府は日米國交調整の根本義として支那に於ける一切の國際的經濟活動に關し列國と協調を保つべきものなること
五十、帝國政府は日米國交調整の根本義として支那の領土保全を尊重するものなること
五十一、帝國政府は日米國交調整の根本義として支那に於ける一切の國際的經濟活動に關し列國と協調を保つべきものなること
五十二、帝國政府は日米國交調整の根本義として支那の領土保全を尊重するものなること
五十三、帝國政府は日米國交調整の根本義として支那に於ける一切の國際的經濟活動に關し列國と協調を保つべきものなること
五十四、帝國政府は日米國交調整の根本義として支那の領土保全を尊重するものなること
五十五、帝國政府は日米國交調整の根本義として支那に於ける一切の國際的經濟活動に關し列國と協調を保つべきものなること
五十六、帝國政府は日米國交調整の根本義として支那の領土保全を尊重するものなること
五十七、帝國政府は日米國交調整の根本義として支那に於ける一切の國際的經濟活動に關し列國と協調を保つべきものなること
五十八、帝國政府は日米國交調整の根本義として支那の領土保全を尊重するものなること
五十九、帝國政府は日米國交調整の根本義として支那に於ける一切の國際的經濟活動に關し列國と協調を保つべきものなること
六十、帝國政府は日米國交調整の根本義として支那の領土保全を尊重するものなること
六十一、帝國政府は日米國交調整の根本義として支那に於ける一切の國際的經濟活動に關し列國と協調を保つべきものなること
六十二、帝國政府は日米國交調整の根本義として支那の領土保全を尊重するものなること
六十三、帝國政府は日米國交調整の根本義として支那に於ける一切の國際的經濟活動に關し列國と協調を保つべきものなること
六十四、帝國政府は日米國交調整の根本義として支那の領土保全を尊重するものなること
六十五、帝國政府は日米國交調整の根本義として支那に於ける一切の國際的經濟活動に關し列國と協調を保つべきものなること
六十六、帝國政府は日米國交調整の根本義として支那の領土保全を尊重するものなること
六十七、帝國政府は日米國交調整の根本義として支那に於ける一切の國際的經濟活動に關し列國と協調を保つべきものなること
六十八、帝國政府は日米國交調整の根本義として支那の領土保全を尊重するものなること
六十九、帝國政府は日米國交調整の根本義として支那に於ける一切の國際的經濟活動に關し列國と協調を保つべきものなること
七十、帝國政府は日米國交調整の根本義として支那の領土保全を尊重するものなること
七十一、帝國政府は日米國交調整の根本義として支那に於ける一切の國際的經濟活動に關し列國と協調を保つべきものなること
七十二、帝國政府は日米國交調整の根本義として支那の領土保全を尊重するものなること
七十三、帝國政府は日米國交調整の根本義として支那に於ける一切の國際的經濟活動に關し列國と協調を保つべきものなること
七十四、帝國政府は日米國交調整の根本義として支那の領土保全を尊重するものなること
七十五、帝國政府は日米國交調整の根本義として支那に於ける一切の國際的經濟活動に關し列國と協調を保つべきものなること
七十六、帝國政府は日米國交調整の根本義として支那の領土保全を尊重するものなること
七十七、帝國政府は日米國交調整の根本義として支那に於ける一切の國際的經濟活動に關し列國と協調を保つべきものなること
七十八、帝國政府は日米國交調整の根本義として支那の領土保全を尊重するものなること
七十九、帝國政府は日米國交調整の根本義として支那に於ける一切の國際的經濟活動に關し列國と協調を保つべきものなること
八十、帝國政府は日米國交調整の根本義として支那の領土保全を尊重するものなること
八十一、帝國政府は日米國交調整の根本義として支那に於ける一切の國際的經濟活動に關し列國と協調を保つべきものなること
八十二、帝國政府は日米國交調整の根本義として支那の領土保全を尊重するものなること
八十三、帝國政府は日米國交調整の根本義として支那に於ける一切の國際的經濟活動に關し列國と協調を保つべきものなること
八十四、帝國政府は日米國交調整の根本義として支那の領土保全を尊重するものなること
八十五、帝國政府は日米國交調整の根本義として支那に於ける一切の國際的經濟活動に關し列國と協調を保つべきものなること
八十六、帝國政府は日米國交調整の根本義として支那の領土保全を尊重するものなること
八十七、帝國政府は日米國交調整の根本義として支那に於ける一切の國際的經濟活動に關し列國と協調を保つべきものなること
八十八、帝國政府は日米國交調整の根本義として支那の領土保全を尊重するものなること
八十九、帝國政府は日米國交調整の根本義として支那に於ける一切の國際的經濟活動に關し列國と協調を保つべきものなること
九十、帝國政府は日米國交調整の根本義として支那の領土保全を尊重するものなること
九十一、帝國政府は日米國交調整の根本義として支那に於ける一切の國際的經濟活動に關し列國と協調を保つべきものなること
九十二、帝國政府は日米國交調整の根本義として支那の領土保全を尊重するものなること
九十三、帝國政府は日米國交調整の根本義として支那に於ける一切の國際的經濟活動に關し列國と協調を保つべきものなること
九十四、帝國政府は日米國交調整の根本義として支那の領土保全を尊重するものなること
九十五、帝國政府は日米國交調整の根本義として支那に於ける一切の國際的經濟活動に關し列國と協調を保つべきものなること
九十六、帝國政府は日米國交調整の根本義として支那の領土保全を尊重するものなること
九十七、帝國政府は日米國交調整の根本義として支那に於ける一切の國際的經濟活動に關し列國と協調を保つべきものなること
九十八、帝國政府は日米國交調整の根本義として支那の領土保全を尊重するものなること
九十九、帝國政府は日米國交調整の根本義として支那に於ける一切の國際的經濟活動に關し列國と協調を保つべきものなること
百、帝國政府は日米國交調整の根本義として支那の領土保全を尊重するものなること

日米關係の前途に光明
楊子江問題が圓滿解決すれば

【ワシントン十八日發同盟】楊子江を英國艦隊が封鎖する用意があるとの說を英國大使館の一部では否定してゐるが、英國當局は若し揚子江上の一部解除が實現された暁には必ずや日英兩國の通商關係に好影響を與ふるものと見てゐる

政府と政黨首の
第二次連絡懇談

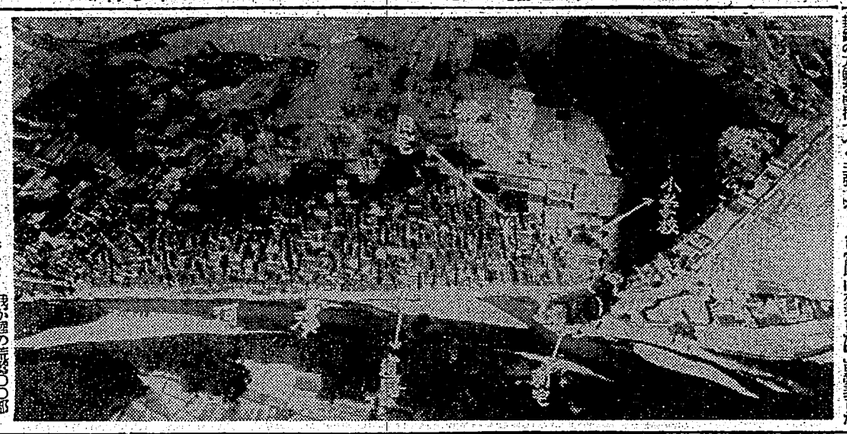
【東京十九日發同盟】十八日午後首相官邸に開かれた政府と各政黨首との連絡懇談會第二次會合は先づ野村外相より前回に引續き支那の外交問題に關し說明し引續き一般國際關係並に國內政治問題に關し說明し質疑應答があつたが今後とも政府と各政黨とは緊密に連絡して行くが方針である

水戸丸近く出帆
我が出先當局は樂觀

【ロンドン十八日發同盟】問題の山縣丸は愈々十八日ロンドン出發香港の途に就いた、山縣丸の救出に依り英國政府は今後支那內地に於ける英國人の引揚に關し英國政府が如何なる態度をとるかが注目されてゐる折柄ハル國務長官は十八日午前の現狀、各國の情勢に關する就任後の最初の記者會見に於て從來の方針を繼續する旨言明をあつた後、阿南駐華次官より新支那中央政權樹立工作はその後經過に進んでゐるので近く樹立されるものと期待してゐる

蔣介石の舊宅を爆撃

我が陸の荒鷲〇〇部隊の爆撃編隊は十二日廣東南方廣州及白雲飛行場に對し南北兩度に亙り猛爆を加へるや敵の航空機は殆んど全部地上に破壊され殘存機は悉く逃げ去つた、この爆撃に參加した我が荒鷲は一機の損害もなく全部基地に歸還した



我が陸の荒鷲〇〇部隊の爆撃編隊は十二日廣州介石の故郷溪口（奉化縣南方百二十キロ）を爆撃、市街東隅にある蔣の舊宅を破壊した、溪口市民は蔣を生んだことを鄕土の誇りとして同舊宅の保存に努めてゐたが蔣は決して溪口に歸れないといふ哀れな迷信を抱いてゐたが、この爆撃によりこの迷信は數十名の蔣宅警備兵諸共木端微塵に吹き飛ばされてしまつた（寫眞は溪口市街と蔣の舊宅）

米洲諸國が協議
交戰國軍艦の避難に對して
執るべき共同動作について

【ワシントン十八日發同盟】ブエノスアイレスに於ける平和會議に參加中のハル國務長官は十八日國務省に於て記者團と會見し米洲諸國が交戰國軍艦の避難に對して協議を行ふ用意ある旨を言明したが、これが開催されることを期待してゐると述べた、而して揚子江問題は日米國交調整の問題とは關係なきものであるとの見解を明かにした

英獨大空中戰
英機二十四機を擊墜

【ベルリン十八日發同盟】ドイツ政府は十八日北海海上に於ける英獨空中戰に關し非公式に左の如く發表した
十八日午後二時半頃英國空軍の最新鋭爆撃機四十四機の編隊を以て獨領內侵入を企てたが
【ベルリン十八日發同盟】ドイツ政府は十八日北海海上に於ける英獨空中戰に關し非公式に左の如く發表した
十八日午後二時半頃英國空軍の最新鋭爆撃機四十四機の編隊を以て獨領內侵入を企てたが

強硬抗議を提出
獨がウルグワイ國へ

【特約電報】モンテビデオ來電に依れればドイツ豫備艦グラーフ・シュペー號（一萬二千噸）の乘員の一つとして英國人一名が乘組んでゐたが、同人は今回の戰鬪に於て戰死したとの理由で英國人乘組員全部が上陸を拒絶されたので、ドイツ大使館は十八日午後ウルグワイ國政府に對しシュペー號の乘組員全部の上陸を許可するやう強硬に抗議を提出したと言はれてゐる

乘組員全部避難

【ヴエノス アイレス 十八日發 同盟】シュペー號の戰鬪員たる關係上ドイツ政府は二十八日モンテビデオ駐在ラングマン公使を通じウルグワイ國政府に對しシュペー號の乘組員全部の避難を要請したが、これに對しグルー大使は
【新竹電話】新竹州十年度の豫算編成會議は既報の如く去る第十六日に上り日下地方課において四百万円程度に各個別に査定を進めてゐるが復活要求は勿論さまざまのもの二十三、四日の兩日間に亙つて復活要求査定會を開催する筈

新竹州明年度豫算
復活要求査定會

平塚元長官の
勅選奏請內定

【東京十九日發同盟】政府は貴族院の勅選議員六名中空席者を補充すべく人選中の所、左の如く內定、十九日の閣議を經て奏請することとなつた
樞密顧問官 子爵 尹 德 榮
東北帝國大學總長 橫山 助成
大阪商工會議所會頭 安宅 正雄
元法制局長官 瀧 正雄
元樞密院書記官長 平塚 廣義

敵の司令部を包圍
據點を覆滅

【〇〇基地十八日發同盟】我が海の荒鷲部隊爆撃機隊は十八日午後二時に分れ濃霧を冒して次方面に出動し午後一時四十分頃より二時十分頃までの間に南昌飛行場を爆撃し、同飛行場に在る敵機多數を炎上せしめ、また南昌南方約十五粁の地點に在る敵の一大兵營を爆撃し、これに多數の命中彈を與へ、更に南昌北

防犯に心掛けよ
あすから全島で週間行事

戰時下に於ける銃後治安の完璧を期して從來各州廳では夫々に防犯週間を設けて防犯思想の普及徹底に努めて來たが今年は更に一層の效果を擧げて全島一齊に防犯週間を設ける事になり來る二十日から二十六日迄各州廳夫々獨自の實情に即した行事や運動を實施する事になつた、元來犯罪の原因については種種本來の

仕事としては戶口調査、警察官吏不良少年の保護檢束、人事相談所の開設等各方面からの查察や適切な施設が設けられてゐるが警察當局の力だけでは犯罪の發生を未然に防ぐことは出來ないので各自が必要とされてゐる、更に戰時下の今日に於ては一層銃後の治安を確保せしめる爲には銃後國民の協力無くしては到底その實效を擧げる事が出來ないので今回の週間行事を機會に從來の防犯思想を一層强化徹底せしめる事が緊要とされてゐる

種々の記念事業
紀元二千六百年に東京市で

【東京十九日發同盟】東京市では紀元二千六百年を記念して第一事業として首都外郭環狀線計畫を立案中であるが、更に十八日第二の記念事業として「新東京建設實施大綱」を決定發表した、これは向ふる二千六百年を機として東京市民代表會同の下に新東京建設に伴ふ諸問題や新文化創造、民族協和及び好隣善鄰關係、防共都市建設等に關する根本綱領を行ふと共に民族的な發展を期さうと云ふもので實現は明年十二月十日の紀元節、又は十八日の開會式日に擧行、同日、支、滿の首公各都市代表約一千名と特別招待としてタイ國代表を招聘して盛大なる記念式典を擧行、同時に東京市民の感謝の意を表する爲に記念の大會の前後四日間に亘り同樣事業の實施を決定、この大會の前後四日間に亘り、兩國、支、滿の新聞雜誌その他言論機關代表者二百名を集めて「東亞新聞大會」を開催、又四日三日の國民兒童代表七百名を招いて「東亞少年大會」を、六月上旬には重要の中等、初等教育者の「東亞教育者大會」を開催することになつてゐる

英植民地の武裝
假裝巡洋艦に訊問された船長

【神戶十八日發同盟】二月の航海を了へ十七日夜に神戶港に入港した郵船「安洋丸」の田中一等航海長は語る

香港、シンガポール共に港口は無數の機雷が敷設されこれを避けるためイギリス海軍が設けた眞黑なブイを目標に入港するのだがこのブイが二十浬に亘る四圍しかなく晝間でさへ探すのに困難は絕對に近く出來ず航海豫定が狂ひ通しです、ボンベイからカラチに行く航海中

減紙に惱む佛紙
朝刊が出せない新聞もある

【パリ十七日發特約電報】戰爭の長期化に伴れてフランス國內では發行紙の不足が深刻になつて來た開戰時もなく僅か四頁に減縮された新聞紙は個月下制限が加へられつつある、その一例はジュルナデス紙が開戰後發行を續けて來たが今日は朝刊の發行を斷念して夕刊紙として發行することになつた、又ルポルタル紙は紙の缺乏から發行が出來なくなつてゐる、又オルル紙の如きは僅か二頁のものしか發行が出來ずその發刊なること開戰前に發行されてゐた附錄同樣である、斯うした紙の大減制に關しニポック紙の編輯者カリ氏は十六日次のやうに洩らした

ニポック紙はもう幾つかの新聞の供給が得られるだけだ、この調子でゆくと近い中にはフランス國內の發行紙は二百六十餘種をなさざるを得なくなるであらう

競技偏重を是正か
學生野球改革の大村案

【東京十九日發本社特電】荒木、有馬コンビ大臣のあとを受けた河原田文相、大村次官が文部當局の新方針に基き學生野球の改革に着手するや否や、野球界は俄かに緊張の氣を孕んで來た、學生野球の根本は野球と教育の兩立にありとし、職業との絕ち第一歩から斷ち出す方針で職業と腦を交へて學生野球の根絕を計らうと云ふのである、從つて二十二日の當局の新方針に觸れず專ら學生野球を改革する態度ではないかとも觀られる、大村次官の改革方針は教育と野球の一致から學生野球を職業的興行的たらしめない事、學業に大なる支障を來さない事を主眼として改革する二方、職業の發展的解消を企圖しこれ迄の野球部長、監督、マネージャーを以てする理事の外、職業內部に教育者を加へて職業の內部に教育者を加へて職業の內部に教育者を加へて職業の

どんな子が冬に弱いか

◇子供が丈夫かどうかということは、冬になるとよくわかるもので丈夫な子供は風の吹く寒さにも元気とはね返りますが弱い子供は寒さに負けて部屋の中に縮こまります。親としては丈夫な子供は益々丈夫になるやうに願へ、弱い子供はいたはつて育て少しでも早く丈夫になるやう心掛けなければなりません。それ故次に弱い子供の特徴について申上げませう。元來弱い子供は痩せるとすぐ氣が滅入り、外へは出ることさへ厭がります。多くは肺や氣管の弱い生れつき榮養の不良な子供です。

◇第一は皮膚の榮養の思い子供は光澤がなく脂肪氣も乏しく、乾からびてざらざらし色も青白くその上過敏なため、少し寒い風にあたると顔色が蒼め、毛穴が立つて鳥肌となります。その代り反對に暑い戸外から暖かい部屋に入ると顔色が紅くなり、手足がほてつて汗ばみます。これは皮膚の榮養が悪く過敏な神經で風邪を引き易い弱い子供です。

◇第二はすぐに鼻粘膜が腫れ易く鼻喉をいためる子供です。鼻粘の變り目には必ず鼻粘膜を腫らし、鼻を出し、膿をします。かういふ子供は扁桃腺腫脹といふので扁桃腺は大抵常に腫上つてゐます。かういふ體質の子供は冬になつてどうしようといふのでなく夏から心がけて丈夫にしなければ手遲れです場合によつては扁桃腺の手術をうけて貰ふ方がよいのです

◇第三は呼吸器の弱い子供です。いつも風邪を引いて鼻汁を出し咽喉や氣管支の粘膜にやゝに炎症を起して咳嗽カタルや氣管支カタルになりします。咳をしたり鼻を出したりしますと、咳が燃え易く炎症が出來易い體質といつて大げさでなくとも、氣管の弱い子供は冬になるべく寒い土地には出まさず又夏の間に高原や丈夫にするやう心掛けることが肝腎です。

御存知の牡蠣で揚げ物の知れて居ますか

牡蠣をフライにするときには、メリケン粉をよくまぶし、よく煮つた油に入れて强火でこく短時間に揚げます。

牡蠣に衣をつけて油に入れ、暫く揚げてゐますと、音が變つてきます。それは衣を通つた油が牡蠣に滲入して牡蠣の水分と油と音ですから、そこでさつと揚げるのが、牡蠣を美味して食ひる秘訣です。

×

フライ鍋を使ふ時は强火で煮立てて、鍋を二攝入れて見てチュツといふ音のするのを度として材料を入れ、なるべく短時間に揚げてしまひません、材料が油臭く不味くなります。

笑へぬ珍事實　ホルモン異變

【ニューヨーク發同盟】世界を風靡してゐるホルモンの效能については今では誰れもこれを疑ふ者がないが、最近在佛ホルモン製造業者にとつて重大問題が發生して來た、其他ホルモンの製作に從事するには男では駄目だといふのである、何故かといふと女性ホルモンを作つてゐるヒトとか指先とかから自然にホルモンが體内に吸收されて間もなく女性特徴が現れて來る、この「をとこをんな」は驚り者にされる結果實に大迷惑千萬問題が會社に提起する、これまでは實驗も使へたものでない、それで女工を使つたらと言ふが彼女等は常にもぐ〳〵ホルモンの效めでめきめきと美人になり男に惚れ結婚して職を止める、これでは練習工が出來ない、かうした女性ホルモンの效能の早さには業者も手を燒いてゐるの笑へない實際問題に關し當業者であると言ふ。

新豫算の立て方

項目は煩雑にならぬ様

（下）

新興生活館理事　榊原平八

豫算によつて生活するには、どうしても節儉といふことが必要でその爲には、家計簿が入用になります、そこで、家計簿はどんなのがよいかといふと、それは家庭の獄簿で一口には申されませんが、市井で賣買されてゐるものは、多くは、机上の空論的のものがあつたり、一方に偏つたものがあつてどうも面白くないのです、それで家計簿は自家製にすることが一番よいと思ひます、次頁見本の家計簿を參考として、自分の家に適當な項目に分けて簿を引いて作るがよいのです、それが一番便利で、經濟です、罫紙大抵あれば一年中の分が出來ます。

次に、これは中流以下のサラリーマン階級に最も適切な家の立て方ですが、これを節儉生活法と申してゐますが、これを紹介いたしませう。

先づ月給その他收入のある時に決定額數つまり、家賃、米代、電氣代等必ず支拂ふべきを額を差し引いて豫算に入れておきます。その殘りを一ケ月分に割りあつてしまひます。別に小遣二つを用意して、一日分のお金を二つの袋の中に入れ、その日に使ふお金はどんな事があつても、それを越えない樣に極りは、別の小袋に入れておき、どうしても一日の買物が決つた額より超過する場合は殘つた小袋の分を足して使ふといふ樣にすれば一月の終には必ずいくらかの儉約が出來るものです。かういふ風にしてゆけば赤字といふものは、一切出來ません、大變儉約で實行し易い儉約生活です

最後に、何々費を收入の何パーセントにするといふ樣な細かい点ですが、これは家庭の獄簿で個々に決定すべきですが、大體の見當からいへば、主食費、つまりお米はどこの家でも決つてゐますからそれを基準にして副食費は米代との割合同額、これを原則として置きたいのです、光熱費等はこれに含まれてゐません、どうも納得地では副食費が多過ぎる傾向がありまして、反對に燃料では少なすぎて

昭和十五年のこよみ

紀元二千六百年（西暦一九四〇年）

閏三月十八日（八十八夜五月二日）入梅六月六日（入梅六月十一日）半夏生七月二日（土用七月二十日）入秋七月七日（土用七月二十日）入秋八月八日（二百十日）九月一日（彼岸九月二十日）入冬十一月七日

△閏年、暦医のかのえたつ（甲辰）

△春分三月二十一日（昼夜六月二十一日）秋分九月二十三日（冬至十二月廿二日）小寒一月六日（土用一月十八日）大寒一月二十一日（節分二月四日）立春二月五日（社日三月十六日）彼

おもとの藥效

おもとの根莖にはヂキタリスに類似の强心作用があります。心臓病に前驅として用ひられます。根はわさび卸しにておろし、その汁を飲めば利尿に效があり、濕疹に效くといはれてゐます。脚氣腫脹には根をおろし、醋とウドン粉を交ぜ練り底心臓から踏まずに貼付するとよい。

又腫物にて頭を洗ふとラクをとくとります。葉をすりつぶしその汁を乳癌、動物に噛まれた傷に貼付して效があります。

御存知の牡蠣で揚げ物の知れて居ますか

牡蠣をフライにするときには、メリケン粉をよくまぶし、よく煮つた油に入れて强火でこく短時間に揚げます。

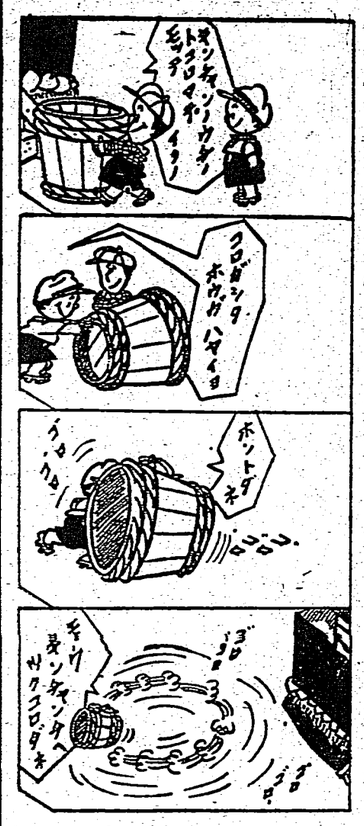
牡蠣に衣をつけて油に入れ、暫く揚げてゐますと、音が變つてきます。それは衣を通つた油が牡蠣に滲入して牡蠣の水分と油と音ですから、そこでさつと揚げるのが、牡蠣を美味して食ひる秘訣です。

×

フライ鍋を使ふ時は强火で煮立てて、鍋を二攝入れて見てチュツといふ音のするのを度として材料を入れ、なるべく短時間に揚げてしまひません、材料が油臭く不味くなります。

笑へぬ珍事實　ホルモン異變

【ニューヨーク發同盟】世界を風靡してゐるホルモンの效能については今では誰れもこれを疑ふ者がないが、最近在佛ホルモン製造業者にとつて重大問題が發生して來た、其他ホルモンの製作に從事するには男では駄目だといふのである、何故かといふと女性ホルモンを作つてゐるヒトとか指先とかから自然にホルモンが體内に吸收されて間もなく女性特徴が現れて來る、この「をとこをんな」は驚り者にされる結果實に大迷惑千萬問題が會社に提起する、これまでは實驗も使へたものでない、それで女工を使つたらと言ふが彼女等は常にもぐ〳〵ホルモンの效めでめきめきと美人になり男に惚れ結婚して職を止める、これでは練習工が出來ない、かうした女性ホルモンの效能の早さには業者も手を燒いてゐるの笑へない實際問題に關し當業者であると言ふ。



家内一同で大喜び

主婦の姜が丈夫になつて

北澤村前一森越ヤヨ

私は産後婦人病に罹りをり、いつも腰や手足が冷え、肩が凝り、めまひがするのに苦しみ通して參りました。その爲色々手當も致しましたが思つた程効果もなく、いつも暗い心でをりましたがその後醫師でワセトン球の薬を勧見いたしますにも私の病氣にピツタリ合ひますので早速お願ひして使用しました所、わづか五日目で、氣分よく、腰や肩りも大變よく、それに元氣づいて毎日使用いたしてをります。今日此頃、何年ぶりかで圓かな明るい家内になりました。是皆お藥のお陰と家内一同よんで居ります。

◇婦人病の治療として、その効能に現れる効果によつて名高いのが、ワセトン球です。現に帝國大學醫學部婦人科を始め全國有名病院で使用されてゐるワセトン球は、婦人科宜しく、この上更に治療を續けるのですから、驚嘆りの婦人病です。

◇滲出性と云ひ、殺菌作用はその名の如く組織の深部に迄も、膿瘍を再び發生することのないまで徹底して治癒します。消炎收斂作用を有し、それに副交感神經刺戟作用等、對症療法によつて不快な苦痛を消し、しかもビタミンAD細胞新生等の作用により下腹部腫瘍出血等、非常に早く歸消、子宮膣粘膜等の傷害とり起る頑固な白帶下、膿漏り等も驚くなど驚異的な療效、無月経、月経過多、過少等に依頼效果を期待に現はす女性ホルモン醫學療法も勿論、若くのはげしい方で一日一回、一週一日二回位の注射で治癒迄に經過出來、自宅療養らくに異常なために病気に罹れず、安心して自宅療養らくに異常なために病気に罹れず、安心して

戰爭では、武器の如何が勝敗の上に最も影響あることはいふまでもないことです。婦人病征服も同じで、優秀な治療器使用によつてそれが決定します。

ANTIPHLAMINE
肺炎・感冒・瀦布剤
アンチフラミン
効果本位

本劑は強心、感冒を治め各種炎症及び悪病性疾患に卓效を有する新巴布劑で患部に塗布するや否やその有效成分が直ちに深部に滲透して消炎鎭痛作用を呈し。患部の新陳代謝を旺盛にして病症を去らしめる。婦婦女の月經痛にも良效を呈する。
適應症
肺炎・感冒・肺結核・氣管支炎・肋膜炎・ロイマチス・扁桃腺炎・感覺炎・筋肉痛・神經痛・乳腺炎・月經痛・運動痛
包　20瓦
　　60瓦
裝　500瓦（病院用）
株式會社　柳韓洋行
京城府西大門町二
大連・奉天・哈爾濱・臺北・天津

ビタミンA・B・C・D・G綜合滋養劑
ハリブマルト
本劑は榮養、補血、消化、循血の各作用を有するヴイタミンA・B・C・D・Gの綜合的滋養劑である。故に從來肝油に有り勝ちな胃腸障害の副作用なく且つて消化を助け便通を整へて榮養吸收を一層高める特長を有する。
包　335瓦
裝　1000瓦
適應症　（全國有名藥局販賣）
榮養不良・食慾不振・貧血症・小兒發育不良・食缺乏症・胃腸病・產前產後・衰弱・病後恢復期等

HALIBUMALT

新春の御家庭に贈る…
特撰優秀レコート
電氣吹込十吋盤・好評の名番組揃ひ
特價　五枚組　三円　六枚組　三円六十錢

一〇一組　名師浪曲傑作集（五枚組）三円
南國情話　春々木米若　三枚
殿旅愁歌（劇の道行）春日井梅鷲　二枚

一〇二組　名調虎造浪曲傑作集（六枚組）三円六十錢
森の石松（金毘羅代參）廣澤虎造　二枚
森の石松（三十石乘船）〃　二枚
森の石松（金毘羅の場）〃　二枚

一〇三組　傑作浪曲集（六枚組）三円六十錢
紀ノ國屋文左衛門　梅中軒鶯童　二枚
涙の紙芝居　宮川左近四枚

一〇四組　名人浪曲傑作集（六枚組）三円六十錢
乃木將軍（信州墓參）春々木米若　二枚
天の屋利兵衛　吉田奈良丸　二枚
藪井竹以　日吉川秋水　二枚

一〇五組　傑作流行歌集（五枚組）三円
一流藝術家新譜
島の追分　音葉笙子　一枚
赤い靴馬車　河東田敏子　一枚
嘆きのブルース　櫻井健二　一枚
別れの雨ど　伊澤寛　一枚
想出のブルース　松島詩子　一枚
霧の降る港　木村はじめ　一枚
喇叭の灯影で　小笠原秦子　一枚
可愛い姑娘

一〇六組　愛國流行歌集（五枚組）三円
愛國行進曲（名譽合唱團）
愛馬進軍歌（名譽合唱團）
月下の歩哨　大久良俊也　一枚
雨を衝いて　母里欣三　一枚
太平洋行進曲（名譽合唱團）
守れ大平洋（名譽合唱團）
銃をかざして　母里欣三　一枚
北支の夢

一〇七組　あきれたコーラスとシャズ傑作集（五枚組）三円
花に浮かれて（あはれ浮かれの…）坊屋三郎外　一枚
俺いらマドロス（こんな男は…）〃　一枚
泣き笑ひ人生　〃　一枚
愉快な仲間　〃　一枚
上海リル　松山進　一枚
愛の橋　浦本　一枚
君と二人で　松山　一枚

一〇八組　端唄傑作集（五枚組）三円
春にも春　岡本ゆき光　一枚
梅柳　（照葉）　一枚
海國　みき光　一枚
淡しの國　（照葉）　一枚
わが紀伊の國　〃　一枚
山の館　照葉　一枚
都々逸（詩吟入）〃　一枚
鴨緑江節（〃）市　一枚

一〇九組　端唄傑作集（五枚組）三円
夕ぐれ　照葉　一枚
の夜　照葉　一枚
多上り新内　（照葉）　一枚
博三味線元
大津絵　〃　一枚
しの枝　〃　一枚
梅に香も　照葉　一枚
香に迷ふ
川梁　照葉　一枚
かつにれ　菊榮　一枚

一一〇組　端唄・俚謠傑作集（五枚組）三円
都々逸　照葉　一枚
奴さん　菊榮　一枚
斬節　菊榮　一枚
磯節　照葉　一枚
江差追分　三島一聲　一枚
佐渡おけさ　松本史一　一枚
新おけさ　松本史一　一枚
安來節　照葉　一枚

一一一組　お笑ひ傑作漫才集（五枚組）三円
神田の生れよ　花菱アチヤコ　一枚
僕の新妻　御園ラッキー　一枚
珍野球　林田十郎　一枚
僕が國さ　秋山左樂　一枚
日本カツポレ　秋山左樂　一枚
實況放送　御園ラッキー　一枚

一一二組　お笑ひ傑作漫才集（五枚組）三円
角力狂時代　秋山右樂　一枚
音等の散財　林田五郎　一枚
軍國の乾坤　秋山右樂　一枚
トーチカ料理　〃　一枚
實況放送　御園ラッキー　一枚

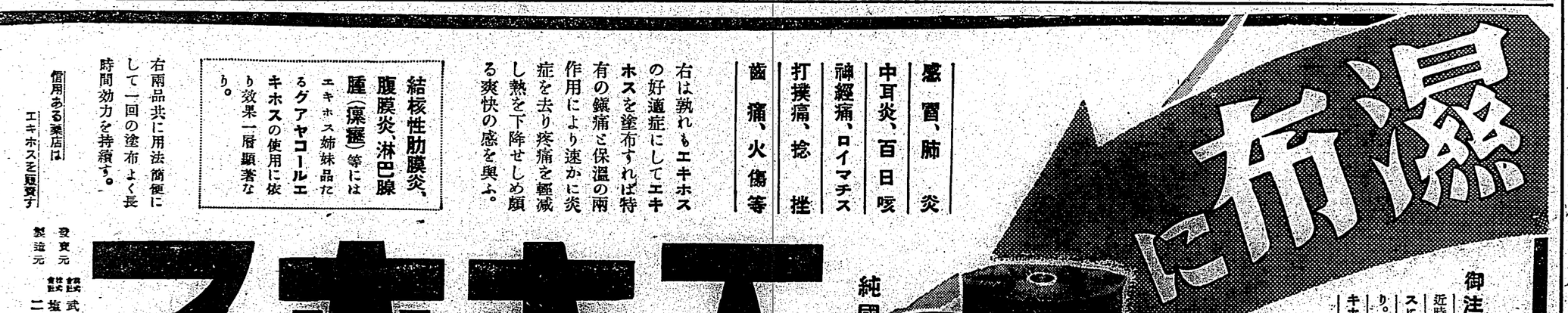
一一三組　新舊傑作童謠集（五枚組）三円
一茶さん　有島通夫　一枚
山寺の子坊主　大久保登子　一枚
坊やの初夢　片岡暗子　一枚
おしやれ小羽根　山崎一郎　一枚
おひげの兵隊さん　大久保登子　一枚
兄さんの出征　眞木ささる　一枚
人形の學校　長谷山　一枚
雛菊童謠團　〃　一枚

一一四組　傑作童謠集（五枚組）三円
青い目の人形　松岡節子　一枚
十五夜お月さん　〃　一枚
僕等人形好きさ　平山英子　一枚
兵隊さん　石寺和子　一枚
雀の學校　松岡節子　一枚
ポンポコ狸　〃　一枚
花嫁人形　佐藤きり子　一枚
ジャンケンポン　佐藤きり子　一枚
子ざる　佐藤きり子　一枚

御注文に就て
◇組番を御明記下さい
◇組番（は除手當ら振替被頒ひます
◇前金以外の御注文は代金引換にてお送り致します（代金引換手數料五錢增）
◇滿洲方面は送料御加算の上「前金」にて願ひます

東京市芝區通新町十三番地
滿鮮總店　河原商店
會長兼社　河原三之丞
支店長兼社　河原三之丞
電話銀座二六八五・六三〇三番

高島屋
大阪市南區難波
通信販賣部
振替口座一大阪九二番



馬に乘る猿

(35)

石川達三作

伊東顯畫

黄金の夢（二）

正月にはいつてから竹下閣下の運命にかゝわりあるものになつただ。彼の出馬を最も熱烈に支持してくれたのは地盤関係の片岡郡の有志であつた。

彼等は片岡郡の選出代議士であること、彼自身が農務局長であること、彼自身には片岡自身、なること、彼自身が農務局長であること、彼自身には片岡自身、なり、更に東西南北の農務を兼ねる。社長の勇退には二千万円を醵出すること。これで農務局長の内部は八方美人だらうといふ評判であつた。

正月休みの四日から五日、六日にかけて「どうです、一つ初遊に行かんですか。ちと清水の湯を浴びんかんですね」と竹下閣下は片岡農務をそゝのかし出した。しかし二人だけで出かけると、あとに残つた猪股社長が気を悪くするに違ひない。ここは猪股でも農務局長も一緒に連れ出した方がいゝと彼は考へた。

二人は清水のほとり、水に臨んだ一軒の離れ座敷といふ大きな旅館に泊りこんで、彼等は三日にわたる長後の寛を強つた。

第二日。

宿につくと先づ一風呂あびてから座敷着になつて大きな長火鉢のテーブルをかこみ、酒宴をはじめた。片岡と竹下のあひだには既に暗黙の諒解あり、主として農務局務を猪股社長に一任することに。

警戒、厳戒には承知せず、合同完成せんとは父吉郎元閣の引退を認めず、更に彼自身が東西南北ノ首役たらんことの可能性を認ふ。

「いや、その点は大丈夫。僕の面目にかけてもきつと実現させますそのことはこのあひだ田舎へ帰つて父吉郎に話しておいたから、彼ら大臣候補に推薦して呉れますと」

「秘書社長は何と言つてゐるかね」

「農長はね、ああいふ人だつてね、明言さんざえといふ前だつたら友引は一切言はんです。そのことは

ふもので、酒でいへば、「ドブロク」に匹敵すべき茶のスープのやうなものであつた。そして南北朝時代には、北方の寒気で作つた茶が流行した。

茶の発達の歴にも自然条件の影響があるといふ事実も興味がある。すなはち緑茶は発酵この葉を見て製法。醗酵やや不充分の緑茶となる。時代には、北方の寒気で作つた茶が流行した。

茶の発達の歴にも自然条件の影響があるといふ事実も興味がある。すなはち緑茶は発酵この葉を見て製法。醗酵やや不充分の緑茶となる。

茶が酒の代用

・隨筆・　諸岡存

「醍醐」に「それ茶を飲めば、酒を醒し、人をして酔ざらしむ」といふ言葉があるが、これが茶と酒の関係を最も簡単に説いたものである。茶が酒を醒す力があり、従つて酒の代りに茶を飲むといふ風習が生じたのである。

「醍醐」とは、呉の第四代の王で、あまり酒のいい王ではなかつたが、ともかく、非常に熱心な仏教信者で殊に肉食を禁じ茶を奨励してゐたので、特に茶には親しみがあつたのである。醍醐は、酔の伴中であつて、最初は「呉興録」の著者である。

× × ×

当時は乱世で、非常に酒の風が盛んで、人に酒を強ひたものだが、醍醐のみには、特に酒に代へて茶を勧めた。それは好んで茶を飲むものと解釈されてゐる。

後漢の明帝の時、仏教が入るにつれて禁ぜられ、仏教及び飲酒が厳禁されて、特に酒に代ふるに茶を以てすることが、僧家に於ける最大の努力であつた。そしてこの風習がその最初の記事と見てよいことになつてゐる。

茶が仏教が盛んになるにつれて飲茶の風も発展がつたので、茶の古い記録としてこの醍醐がよく引かれるのである。

当時の茶は、主に「茶粥」といふ風習があつた。

× × ×

呉志韋曜伝に「孫皓毎饗宴、坐席無不率以七升、雖不悉入口、皆浦漬取尽」とある。

× × ×

この時代、酔豹が出て、非常に茶を奨励したのである。陸羽の茶道は陸羽茶経に説かれてゐるが、その中には、先生茶を飲んで酒を飲ませず、飲んだ後、お七升茶経を利めず——とある。

また、陸羽、唐代の隠詩人が出て盛んに詩の唱和をしてゐるが、その内、唐休の句に「十分春色茶を煮る」といふ句があり、また、陸羽の詩に「且らく共に晨曦を賞せんや」とある。これは晨曦茶道は陸羽茶経に説かれてゐるが、その内、唐休の句に「十分春色茶を煮る」といふ句があり、また、陸羽の詩に「且らく共に晨曦を賞せんや」とある。これは晨曦茶道は陸羽茶経に説かれてゐるが、

次に、最も有名な茶粥として白居易をあげねばならぬ、何故なれば人も知る如く、白楽天は日本に最も多く紹介を及ぼした詩人で「白氏文集」は貴族にわが藤佐八郎門士をはじめ多くの愛読者があつた。更に著者「民族詩歌の大方針を眺望して」の中に「白氏文集」は貴族にわが藤佐八郎門士をはじめ多くの愛読者があつた。更に著者「民族詩歌の大方針を眺望して」の中に

次に、最も有名な茶粥として白居易をあげねばならぬ、何故なれば人も知る如く、白楽天は日本に最も多く紹介を及ぼした詩人で「白氏文集」は貴族にわが藤佐八郎門士をはじめ多くの愛読者があつた。更に著者「民族詩歌の大方針を眺望して」の中に

茶の発達の歴にも自然条件の影響があるといふ事実の句を多く引いてゐる事から見ても、この辺の消息が明かである。その内おもしろいのは

「酒渇愛と誰か二盞の茶」

の句である。

× × ×

茶酒醒はこれを解釈して「酒を飲むと渇くので飲を引くなり、その時は喉茶を喫すべし、他の湯水などを飲むと酔れ、他の湯水などを飲めば、必ず種々の病を生ずる恐れあり」とある。

これに依れば、白楽天は醍醐の水を愛して、酒後の渇きには茶を用ひてゐたことがわかる。

このことは、現代の薬物学上極めて合理的な意見である。元来茶の利能は醍醐であることは、勿論茶の発能の歴にも自然条件の影響があるとしては意義ある利能の効果が現れない点がある。こんな場合には茶の成分の煎薬、例へば「ウレタン」の如きものを注射しておいて後に茶を注射すれば、必ず著しい利能作用を現すものである

× × ×

この理により、酒後の喉渇には茶を飲めば、爽にして利能作用が起つて身体、特に肝臓の浄能作用が起つて身体、特に肝臓の浄能作用が起つて身体、特に肝臓の浄

臺灣日日新報
日本人唯一の一流紙
日刊夕刊共二十二頁
臺北市北門町壹丁目四番地
社長 佐々木 八十
臺北市表町一丁目一番地
電話代表五八〇一番
定価本一部金十錢
一月分金壹圓二十五錢
特別送料共
一月分金壹圓五十錢
振替口座臺北一〇五番
臺灣日日新報社
昭和十四年十二月二日（水曜日）
第一萬四千二百八十四號
（第二種郵便物認可）

日英會談再開か

諸懸案は急速解決へ

長江開放を待つ

ハル米長官談

【ワシントン十八日發同盟】ハル國務長官は十八日午後の定例記者會見に於て日英會談再開の可能性に關し次の如く語つた

一、日英會談は東京に於ける日本側と英國大使との間に行はれてゐるが、會談の内容については何等發表されてゐない

二、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

三、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

四、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

五、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

六、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

七、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

八、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

九、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

十、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

十一、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

十二、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

十三、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

十四、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

十五、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

十六、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

十七、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

十八、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

十九、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

二十、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

二十一、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

二十二、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

二十三、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

二十四、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

二十五、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

二十六、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

二十七、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

二十八、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

二十九、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

三十、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

三十一、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

三十二、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

三十三、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

三十四、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

三十五、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

三十六、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

三十七、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

三十八、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

三十九、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

四十、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

四十一、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

四十二、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

四十三、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

四十四、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

四十五、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

四十六、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

四十七、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

四十八、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

四十九、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

五十、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

五十一、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

五十二、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

五十三、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

五十四、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

五十五、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

五十六、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

五十七、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

五十八、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

五十九、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

六十、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

六十一、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

六十二、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

六十三、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

六十四、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

六十五、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

六十六、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

六十七、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

六十八、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

六十九、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

七十、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

七十一、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

七十二、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

七十三、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

七十四、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

七十五、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

七十六、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

七十七、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

七十八、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

七十九、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

八十、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

八十一、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

八十二、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

八十三、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

八十四、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

八十五、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

八十六、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

八十七、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

八十八、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

八十九、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

九十、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

九十一、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

九十二、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

九十三、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

九十四、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

九十五、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

九十六、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

九十七、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

九十八、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

九十九、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

百、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

百一、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

百二、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

百三、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

百四、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

百五、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

百六、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

百七、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

百八、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

百九、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

百十、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

百十一、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

百十二、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

百十三、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

百十四、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

百十五、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

百十六、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

百十七、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

百十八、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

百十九、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

百二十、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

百二十一、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

百二十二、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

百二十三、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

百二十四、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

百二十五、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

百二十六、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

百二十七、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

百二十八、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

百二十九、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

百三十、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

百三十一、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

百三十二、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

百三十三、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

百三十四、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

百三十五、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

百三十六、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

百三十七、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

百三十八、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

百三十九、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

百四十、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

百四十一、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

百四十二、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

百四十三、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

百四十四、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

百四十五、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

百四十六、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

百四十七、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

百四十八、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

百四十九、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

百五十、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

百五十一、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

百五十二、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

百五十三、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

百五十四、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

百五十五、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

百五十六、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

百五十七、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

百五十八、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

百五十九、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

百六十、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

百六十一、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

百六十二、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

百六十三、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

百六十四、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

百六十五、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

百六十六、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

百六十七、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

百六十八、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

百六十九、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

百七十、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

百七十一、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

百七十二、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

百七十三、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

百七十四、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

百七十五、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

百七十六、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

百七十七、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

百七十八、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

百七十九、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

百八十、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

百八十一、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

百八十二、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

百八十三、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

百八十四、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

百八十五、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

百八十六、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

百八十七、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

百八十八、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

百八十九、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

百九十、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

百九十一、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

百九十二、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

百九十三、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

百九十四、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

百九十五、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

百九十六、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

百九十七、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

百九十八、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

百九十九、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

二百、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

二百一、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

二百二、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

二百三、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

二百四、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

二百五、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

二百六、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

二百七、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

二百八、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

二百九、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

二百十、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

二百十一、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

二百十二、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

二百十三、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

二百十四、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

二百十五、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

二百十六、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

二百十七、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

二百十八、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

二百十九、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

二百二十、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

二百二十一、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

二百二十二、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

二百二十三、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

二百二十四、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

二百二十五、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

二百二十六、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

二百二十七、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

二百二十八、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

二百二十九、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

二百三十、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

二百三十一、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

二百三十二、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

二百三十三、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

二百三十四、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

二百三十五、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

二百三十六、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

二百三十七、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

二百三十八、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

二百三十九、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

二百四十、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

二百四十一、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

二百四十二、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

二百四十三、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

二百四十四、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

二百四十五、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

二百四十六、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

二百四十七、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

二百四十八、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

二百四十九、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

二百五十、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

二百五十一、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

二百五十二、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

二百五十三、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

二百五十四、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

二百五十五、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

二百五十六、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

二百五十七、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

二百五十八、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

二百五十九、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

二百六十、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

二百六十一、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

二百六十二、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

二百六十三、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

二百六十四、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

二百六十五、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

二百六十六、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

二百六十七、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

二百六十八、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

二百六十九、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

二百七十、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

二百七十一、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

二百七十二、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

二百七十三、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

二百七十四、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

二百七十五、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

二百七十六、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

二百七十七、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

二百七十八、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

二百七十九、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

二百八十、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

二百八十一、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

二百八十二、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

二百八十三、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

二百八十四、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

二百八十五、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

二百八十六、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

二百八十七、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

二百八十八、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

二百八十九、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

二百九十、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

二百九十一、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

二百九十二、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

二百九十三、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

二百九十四、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

二百九十五、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

二百九十六、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

二百九十七、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

二百九十八、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

二百九十九、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

三百、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

三百一、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

三百二、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

三百三、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

三百四、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

三百五、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

三百六、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

三百七、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

三百八、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

三百九、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

三百十、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

三百十一、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

三百十二、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

三百十三、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

三百十四、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

三百十五、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

三百十六、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

三百十七、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

三百十八、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

三百十九、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

三百二十、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

三百二十一、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

三百二十二、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

三百二十三、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

三百二十四、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

三百二十五、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

三百二十六、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

三百二十七、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

三百二十八、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

三百二十九、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

三百三十、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

三百三十一、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

三百三十二、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

三百三十三、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

三百三十四、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

三百三十五、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

三百三十六、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

三百三十七、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

三百三十八、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

三百三十九、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

三百四十、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

三百四十一、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

三百四十二、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

三百四十三、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

三百四十四、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

三百四十五、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

三百四十六、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

三百四十七、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

三百四十八、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

三百四十九、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

三百五十、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

三百五十一、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

三百五十二、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

三百五十三、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

三百五十四、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

三百五十五、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

三百五十六、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

三百五十七、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

三百五十八、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

三百五十九、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

三百六十、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

三百六十一、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

三百六十二、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

三百六十三、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

三百六十四、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

三百六十五、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

三百六十六、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

三百六十七、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

三百六十八、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

三百六十九、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

三百七十、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

三百七十一、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

三百七十二、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

三百七十三、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

三百七十四、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

三百七十五、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

三百七十六、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

三百七十七、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

三百七十八、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

三百七十九、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

三百八十、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

三百八十一、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

三百八十二、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

三百八十三、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

三百八十四、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

三百八十五、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

三百八十六、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

三百八十七、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

三百八十八、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

三百八十九、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

三百九十、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

三百九十一、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

三百九十二、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

三百九十三、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

三百九十四、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

三百九十五、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

三百九十六、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

三百九十七、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

三百九十八、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

三百九十九、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

四百、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

四百一、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

四百二、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

四百三、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

四百四、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

四百五、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

四百六、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

四百七、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

四百八、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

四百九、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

四百十、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

四百十一、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

四百十二、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

四百十三、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

四百十四、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

四百十五、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

四百十六、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

四百十七、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

四百十八、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

四百十九、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

四百二十、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

四百二十一、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

四百二十二、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

四百二十三、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

四百二十四、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

四百二十五、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

四百二十六、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

四百二十七、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

四百二十八、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

四百二十九、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

四百三十、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

四百三十一、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

四百三十二、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

四百三十三、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

四百三十四、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

四百三十五、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

四百三十六、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

四百三十七、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

四百三十八、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

四百三十九、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

四百四十、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

四百四十一、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

四百四十二、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

四百四十三、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

四百四十四、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

四百四十五、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

四百四十六、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

四百四十七、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

四百四十八、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

四百四十九、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

四百五十、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

四百五十一、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

四百五十二、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

四百五十三、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

四百五十四、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

四百五十五、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

四百五十六、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

四百五十七、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

四百五十八、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

四百五十九、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

四百六十、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

四百六十一、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

四百六十二、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

四百六十三、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

四百六十四、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

四百六十五、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

四百六十六、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

四百六十七、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

四百六十八、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

四百六十九、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

四百七十、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

四百七十一、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

四百七十二、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

四百七十三、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

四百七十四、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

四百七十五、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

四百七十六、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

四百七十七、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

四百七十八、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

四百七十九、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

四百八十、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

四百八十一、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

四百八十二、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

四百八十三、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

四百八十四、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

四百八十五、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

四百八十六、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

四百八十七、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

四百八十八、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

四百八十九、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

四百九十、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

四百九十一、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

四百九十二、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

四百九十三、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

四百九十四、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

四百九十五、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

四百九十六、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

四百九十七、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

四百九十八、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

四百九十九、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

五百、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

五百一、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

五百二、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

五百三、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

五百四、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

五百五、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

五百六、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

五百七、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

五百八、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

五百九、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

五百十、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

五百十一、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

五百十二、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

五百十三、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

五百十四、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

五百十五、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

五百十六、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

五百十七、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

五百十八、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

五百十九、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

五百二十、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

五百二十一、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

五百二十二、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

五百二十三、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

五百二十四、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

五百二十五、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

五百二十六、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

五百二十七、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

五百二十八、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

五百二十九、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

五百三十、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

五百三十一、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

五百三十二、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

五百三十三、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

五百三十四、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

五百三十五、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

五百三十六、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

五百三十七、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

五百三十八、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

五百三十九、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

五百四十、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

五百四十一、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

五百四十二、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

五百四十三、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

五百四十四、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

五百四十五、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

五百四十六、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

五百四十七、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

五百四十八、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

五百四十九、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

五百五十、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

五百五十一、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

五百五十二、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

五百五十三、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

五百五十四、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

五百五十五、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

五百五十六、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

五百五十七、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

五百五十八、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

五百五十九、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

五百六十、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

五百六十一、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

五百六十二、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

五百六十三、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

五百六十四、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

五百六十五、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

五百六十六、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

五百六十七、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

五百六十八、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

五百六十九、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

五百七十、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

五百七十一、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

五百七十二、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

五百七十三、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

五百七十四、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

五百七十五、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

五百七十六、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

五百七十七、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

五百七十八、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

五百七十九、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

五百八十、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

五百八十一、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

五百八十二、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

五百八十三、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

五百八十四、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

五百八十五、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

五百八十六、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

五百八十七、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

五百八十八、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

五百八十九、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

五百九十、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

五百九十一、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

五百九十二、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

五百九十三、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

五百九十四、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

五百九十五、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

五百九十六、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

五百九十七、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

五百九十八、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

五百九十九、日英會談の再開に關しては何等發表されてゐない

六百、日英會談の再開に關しては何

稅革案と經濟

百億突破の大豫覺

總動員物資使用收用令（續き）

第十六條　設置通知書には左の事項を記載すべし

一、設置を命ずる者の名

二、設置を受くべき者の名

三、設置すべき總動員物資の所有者名

四、設置すべき總動員物資の名稱種類及數量並に所在の場所

五、設置の時期及場所

六、其他必要と認むる事項

前項の設置命令には特別の事由ある場合を除くの外前號を準用する

第十七條　總動員物資の使用權は設置通知書又は公告の過當時期に於て消滅す

第十八條　國が總動員法第二十七條の規定により補償すべき損失は設置通知書又は公告の過當時期までの收用の場合にあつては第十條の規定により當該總動員物資の引渡しあり當該總動員物資の使用權に關し新たなる命令をなしたる者に對しては之に依る損失の補償をなさざるものとす

第十九條　使用又は收用したる總動員物資が第四條第二項の規定による先取特權、質權又は抵當權の目的たる場合に於ては其の使用又は收用に因り生ずべき損失に關しては前項の規定を準用す

第二十條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第二十一條　第四條乃至第八條第十二條第十三條第十四條乃至第十七條及前條第四項の規定の施行に關し必要なる事項は閣令を以て之を定む

第二十二條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第二十三條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第二十四條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第二十五條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第二十六條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第二十七條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第二十八條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第二十九條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第三十條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第三十一條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第三十二條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第三十三條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第三十四條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第三十五條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第三十六條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第三十七條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第三十八條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第三十九條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第四十條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第四十一條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第四十二條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第四十三條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第四十四條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第四十五條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第四十六條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第四十七條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第四十八條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第四十九條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第五十條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第五十一條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第五十二條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第五十三條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第五十四條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第五十五條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第五十六條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第五十七條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第五十八條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第五十九條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第六十條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第六十一條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第六十二條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第六十三條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第六十四條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第六十五條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第六十六條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第六十七條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第六十八條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第六十九條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第七十條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第七十一條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第七十二條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第七十三條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第七十四條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第七十五條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第七十六條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第七十七條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第七十八條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第七十九條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第八十條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第八十一條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第八十二條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第八十三條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第八十四條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第八十五條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第八十六條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第八十七條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第八十八條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第八十九條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第九十條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第九十一條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第九十二條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第九十三條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第九十四條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第九十五條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第九十六條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第九十七條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第九十八條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第九十九條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第百條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第百一條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第百二條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第百三條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第百四條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第百五條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第百六條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第百七條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第百八條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第百九條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第百十條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第百十一條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第百十二條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第百十三條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第百十四條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第百十五條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第百十六條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第百十七條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第百十八條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第百十九條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第百二十條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第百二十一條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第百二十二條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第百二十三條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第百二十四條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第百二十五條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第百二十六條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第百二十七條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第百二十八條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第百二十九條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第百三十條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第百三十一條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第百三十二條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第百三十三條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第百三十四條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第百三十五條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第百三十六條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第百三十七條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第百三十八條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第百三十九條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第百四十條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第百四十一條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第百四十二條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第百四十三條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第百四十四條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第百四十五條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第百四十六條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第百四十七條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第百四十八條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第百四十九條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第百五十條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第百五十一條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第百五十二條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第百五十三條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第百五十四條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第百五十五條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第百五十六條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第百五十七條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第百五十八條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第百五十九條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第百六十條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第百六十一條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第百六十二條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第百六十三條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第百六十四條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第百六十五條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第百六十六條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第百六十七條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第百六十八條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第百六十九條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第百七十條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第百七十一條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第百七十二條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第百七十三條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第百七十四條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第百七十五條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第百七十六條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第百七十七條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第百七十八條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第百七十九條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第百八十條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第百八十一條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第百八十二條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第百八十三條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第百八十四條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第百八十五條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第百八十六條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第百八十七條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第百八十八條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第百八十九條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第百九十條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第百九十一條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第百九十二條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第百九十三條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第百九十四條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第百九十五條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第百九十六條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第百九十七條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第百九十八條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第百九十九條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第二百條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第二百一條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第二百二條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第二百三條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第二百四條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第二百五條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第二百六條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第二百七條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第二百八條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第二百九條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第二百十條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第二百十一條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第二百十二條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第二百十三條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第二百十四條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第二百十五條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第二百十六條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第二百十七條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第二百十八條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第二百十九條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第二百二十條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第二百二十一條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第二百二十二條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第二百二十三條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第二百二十四條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第二百二十五條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第二百二十六條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第二百二十七條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第二百二十八條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第二百二十九條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第二百三十條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第二百三十一條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第二百三十二條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第二百三十三條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第二百三十四條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第二百三十五條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第二百三十六條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第二百三十七條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第二百三十八條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第二百三十九條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第二百四十條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第二百四十一條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第二百四十二條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第二百四十三條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第二百四十四條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第二百四十五條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第二百四十六條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第二百四十七條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第二百四十八條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第二百四十九條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第二百五十條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第二百五十一條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第二百五十二條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第二百五十三條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第二百五十四條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第二百五十五條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第二百五十六條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第二百五十七條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第二百五十八條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定したる官廳を以て之に當つる

第二百五十九條　本令中閣令とあるは勅令中官制とあるは勅令又は閣令中官廳とあるは勅令に依り指定した

南京―北京

津浦線のスリルを越えて

（一）

本社特派員　安藤德器

南京から北京まで四日間の大時間旅行である。津浦線の鉄路を利用すれば四十餘時間かかるが、一寸先が暗いから止むを得ない。沿線の風物を眺くのも一興と思って配給の駅食堂に乗り込んだ。南京ホテルから汽車が出るので下關から浦口まで、ポンくく船に乗るのである。南京の町は一歩出ると貧民窟以上に汚く、臭気ふんぷんたるものだ。ここに支那人の生活の縮図があるかと思うと、暗澹たる気持になる。

船は一時間五十錢という割合で安いことは安いが、船足の遅いこと驚くばかりだ。船室は三等だけに汚く、一人で六人分の場所を占領しているような始末だ。

大體津浦線は一八九八年、列国の鉄道利権争奪戦に於て、英獨半半に區劃したものだといわれている。外人技師の手により敷設された鉄路、軍事いづれも最初は北京から南京へ入り込むことが出来る。又大運河は大體同の外側にあって江蘇、浙江の合肥から御馬走を喰ふ通路で、山東省はこの通路に當った為に有名な梁山泊はこの鉄路を途中で失敬する事が多い。

かの徐州大會戦の折った古戰場には至る処、トーチカの跡が見出され点々たる停車場には装甲列車が配置されてゐる。

「配給は南京及び天津をその頂点とした北京の一等二等三等と差別されてゐるのみ、中支地帯はまだ眼に青いものが見えるが、北支の方は一寸見ると、北京と南京とまづいことは内地の鉄道局にも及ばない。

食物が不味いなど兵隊さんの前ではいへないが、実際喰へたものはつもない。牛乳かトーストしか喰べる事が出なかった。

四十餘時間、これでは堪へられぬがやはり探偵心と好奇心とで、スリルの方が満喫である。

午後七時頃に蚌埠の危險區域は、午後七時頃にさしかかる。大陸の隠もトップリと暮れて車窓は黒いカーテンに閉ざされ警察官がオリンと發砲した國で、○○係を警戒した。乘客の身體檢査は兵隊さんの一番手二番足に装備される。ありがたい話だ。之れ支那ならどんなであらうなど妄想して、最早の緊張に目から頭が下がる。「御苦勞様ツ」ともいへない一勤務中の緊張感には、他万人とは一切も判けないのだ。ただ頭を垂れて目禮するのみである。乘客は頭等に乘つたことを後悔したが遅いので、一等車へ逃びに行ったそこには日本人の剛がテラホラと見える。――頭等は外人二名、支那人二名のみであったが、各自一人つつ部屋に陣つてゐるから顔は見えない。食堂車といつてもひどいもので、不潔とまづいことは内地の鉄道局にも及ばない。

食物が不味いなど兵隊さんの前ではいへないが、実際喰へたものはつもない。牛乳かトーストしか喰べる事が出なかった。

四十餘時間、これでは堪へられぬがやはり探偵心と好奇心とで、スリルの方が満喫である。

動亂が生んだ幼なき武裝兵

列強の子供部隊

ヨーロッパの子供園に戰雲に乗じ大きな花火の間に赤い血を流す大きな花火の間に赤い血を流して居る。

戰爭！父も兄も銃後の母も婦選も嫌なんて、こそつて、世紀の大戰爭頭に出掛つてゐる。彼等は幼き戰慄と可愛な顔をまつり合せて此の戰慄に、ちぎれる許りに顫めく戰國の旗を見仰ぎ乍ら、どんな心で危機の時局を眺めてゐるであらうか！嗚呼、彼等も赤色國旗の下に準へ、い戰闘に、戰慄して居るのだ、動亂下列國の幼き國民戰士の活躍とは何か！

×

先づ獨逸の若人戰士から眺めてゆくと、此の世界的に有名な強國は大戰から小銃射撃を教へてゐるヒットラー幼年團とヒットラー幼女團は十歳から十四歳までで、其の上に十五歳から十八歳までの青年男女によつて組織されてゐるヒットラー青年團とヒットラー女子青年團とがある。以上七を以つて男子五軍團は男女共十七万五千で五個團團より成り、師團の下に旅團、其の下に聯隊、大隊、中隊、小隊、分隊と續々て軍隊式で其の編制裝備がフォンシラク氏で皇帝の如き權を持つてゐるが、ベルリンの防空地下室二百八十八は全部被害によつて壯士たちは、現在は全國的に國防觀念化せられる、可愛な活動振りを發揮してゐる。

×

英吉利にボーイスカウトの團だ其の數男女六十万が國防線と戰慄の一員を誇つてゐる、他の外に少年團と教育青年團、少年航空兵等があるが、之等は國民十二歳以上十七歳までで總數七万人（獨軍指導の下に機械化、軍事教練、日本青少年團體を編成、軍事教練、軍事教練をやつてゐる「己れを敬はんと欲せばまづ己れ自身に敬め！」これは國家に盡すラシス人に與へた標語一のモットーである、軍事教育の青少年少女四十万は戰線、行進、防空、訓練に若き日の血を湧躍してゐると云ふ。

×

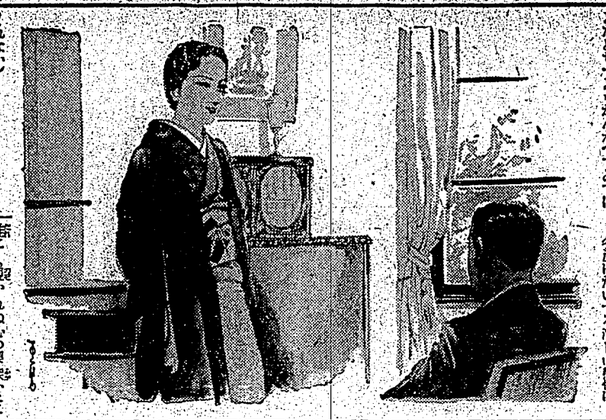
佛國西はと見ると、最近は十二歳から軍事教練をやつてゐる「己れを敬はんと欲せばまづ己れ自身に敬め！」これは國家に盡すラシス人に與へた標語一のモットーである、軍事教育の青少年少女四十万は戰線、行進、防空、訓練に若き日の血を湧躍してゐると云ふ。

×

ソ聯には赤き搖籃ピオニール（共産少年團）ピオネールカ（同少女團）コムソモール（同青年團）コムソモールカ（同女子青年團）等があるが、之等は十二歳から軍事教練をやつてゐる、小学校や中等學門学校に於いてゐる、小学校や中等學門学校に於いてゐる、小学校や中等學門学校に於い

激流（49）

久生十蘭 作
伊勢良夫 畫



晩餐（九）

夏子は、男爵閣下の肩の辺に手をかけたまゝ烈しい誘惑を感じるためにちょっと呼吸をとめた。

この二年の間、これに手をかけるたびに、いつかの夏の朝に瞬間つた思いがけない事態の、あの眼もあけていられない感覚の渦をその時のまゝに思い出すのであった。

冬彦は、枕元から遠い隅の方の椅子に、両脚をくつつけてキチンと掛けてあて、夏子に入つてゆくというものをうに膝前に立つて目礼をした。

二人の眼……瞬間、蔑視しあつた。

夏子は膳のうらを彼の深い眼を眺めながら、冬彦の身動きを封じ住せに自分の方へ引き寄せたいやうな衝動を感じた。

冬彦は、硬ばつた眼差で静かに夏子の眼を見かへしてゐる。

（おたしか、こんなに愛してゐるのに、このひとは、あたしのことをどうつとうがんがへてゐるではくれない）

夏子の心は、いつものやうなやる瀬ない感情にひしがれて、うらうらと萎れかかつてきた。

「お待ちしたわ。いままでお待ちさせたうたの」

冬彦は、美しい眼元をほんのり

瞳に、朝かれないの奥深いところへおし隠し、そのひとの前ではどんな微なときめきをもさとられまいと表はしたことがなかつた。

冬彦へのひそかな愛を、毎日日記帳（書きつける習慣は、今もまだつづいてゐて、逢つた日の物

ラヂオ

【七・一〇】朝の挨拶ラヂオ體操
【七・二〇】朝の修養（眞宗）　普賢義（六）朝保如大
【七・三〇】朝の音樂（レコード）
アコーデイオン獨奏＝波岡茂輝（ローザス作曲）ミミル・ヴアーシニー、アコーデイオン二重奏＝碧きドナウ（ヨハン・シュトラウス作曲）マルソー・ザンダース
【八・〇〇】ニュース
【八・一〇】最近世界大戰史講話（第十六回）（臺北）世界大戰前に於ける陸軍問題（七）陸軍大佐
【九・四五】養蠶日誌（臺北）
一、蠶期の管理を誤らない法
二、蠶期の管理を誤つた法
【一〇・〇〇】幼兒の時間（臺北）
唱歌＝故の王宮裏・手毬唄・仕行猫・ピアノ獨奏＝海邊、田アサ子

【一〇・二五】民謠組曲（大阪）＝野行き、山行き・笛田いさむ作詞・服部良一作曲＝一、山羊ほり　二、みそつち　三、太鼓唄　四、頬白　五、蛍焼き　六、鶴たび・獨唱＝楠木繁夫、松島詩子、合唱＝JOBK鳴娘隊、伴奏＝大阪ラヂオ・オーケストラ、指揮＝服部良一
【九・三五】九四〇時報（東京）
【九・四〇】時間講演（臺北）防犯週間に際して・臺灣總督府警務局長
【九・五〇】講談（大阪）＝赤穂義士銘々傳・神田伯龍
【一一・〇〇】ニュース
【一一・一〇】北京發ニュース
【一一・二〇】馬來發ニュース
【一一・三〇】蘭印發ニュース
【一一・四〇】ニュース
【一一・五〇】天氣豫報

【一二・〇〇】國語講座（臺北）
【一二・一〇】ニュース
【一二・二〇】經濟ニュース
【一二・三〇】ニュース
【一二・四〇】コドモのニュース（臺北）
【一二・五〇】北地小學校四年加藤哲郎
【一三・〇〇】子供の時間
お話＝冬の自然・鹿島勝十六町谷榮
【一三・一〇】子供の新聞（東京）
【一三・二〇】講演（臺北）最近時局の諸問題
【一三・四〇】素菜ニュース
【一三・五〇】カレント・トピックス（臺北）

夜
【一七・〇〇】（臺北）音樂＝表木と唱＝山崎讓章
【一七・一〇】ニュース
【一七・二〇】特別講演（臺北）　臺灣勤勞の精神發揚＝臺北帝國大學教授內藤雋輔
【一七・四〇】講演（大阪）＝今年の經濟界＝下田將美

獨逸の植林事業

森林地方の復舊工事計畫

大戰後の作戰に關聯される前には、單に一般的に關聯ある次の事を述べてゐるにすぎないが、その計畫の嚴密にして廣範なることを知るものは、今般非常に短期間に數ケ月を出ずして復舊工事完成の報を聞いても驚くべきことと思はない。

今ザールとエーゼルの森林地帶に關係は略ぼ全部を占つてゐる關係で破壞を繰返してゐるが、大體林に何を與へるかは知れもこれを知る。第一次大戰の時世界各國の森林は著しく荒廢したものである

全島學徒大演習

臺中平野を戰場にし
けふ編制を終って對峙

【臺中電話】全島學校生徒七千名參加の大演習は二十日から開催されるが大體の演習計畫は二十日午後二時までに終了、夜は彰化地方に集合、同四時頃から演習を終って宿營、二十一日は朝早くともに午前八時頃宿營地を出發、同十時から二時までの間に豫定通り附近にて一大演習戰を交じえながら台中方面に集合、同四時頃から豫定の地點に於て對峙の編制を行ふ、演習は二十二日午前七時頃から開始、同九時から市内を行進して練兵場に入り同十時から觀覽、軍司令官講評の下に分列式を行ふが非常時下全島學生生徒にかけられた訓練であり折柄天候の激變にて參加學生の健康を害する恐れがあるので演習は二十二日午前中で打切ることになり午後は豫定の行事を全部中止することに決した

【臺中電話】今回の演習は十九日午後一時から二十日午後一時まで二十四時間の豫定で行はれ參加人員は左の如し

▲第一線軍（赤軍）　步兵第二聯隊（旭川）、步兵第二十七聯隊（釧路）、步兵第二十八聯隊（北見）、步兵第二十五聯隊（留萌）、步兵第二十六聯隊（名寄）、騎兵第二聯隊（旭川）、野砲兵第二聯隊（旭川）、工兵第二大隊（旭川）、輜重兵第二大隊（旭川）、衛生隊（旭川）、第二師團通信隊（旭川）、第二師團野戰病院（旭川）、第二師團野戰自動車隊（旭川）

▲第二線軍（青軍）　步兵第二十聯隊（札幌）、步兵第二十五聯隊（札幌）、步兵第二十六聯隊（札幌）、騎兵第二聯隊（札幌）、野砲兵第二聯隊（札幌）、工兵第二大隊（札幌）、輜重兵第二大隊（札幌）、衛生隊（札幌）、第二師團通信隊（札幌）、第二師團野戰病院（札幌）、第二師團野戰自動車隊（札幌）

▲第三線軍（白軍）　步兵第二十八聯隊（函館）、步兵第二十九聯隊（函館）、步兵第二十七聯隊（函館）、騎兵第二聯隊（函館）、野砲兵第二聯隊（函館）、工兵第二大隊（函館）、輜重兵第二大隊（函館）、衛生隊（函館）、第二師團通信隊（函館）、第二師團野戰病院（函館）、第二師團野戰自動車隊（函館）

▲第四線軍（黒軍）　步兵第二十三聯隊（帶廣）、步兵第二十四聯隊（帶廣）、騎兵第二聯隊（帶廣）、野砲兵第二聯隊（帶廣）、工兵第二大隊（帶廣）、輜重兵第二大隊（帶廣）、衛生隊（帶廣）、第二師團通信隊（帶廣）、第二師團野戰病院（帶廣）、第二師團野戰自動車隊（帶廣）

▲第五線軍（緑軍）　步兵第二十一聯隊（旭川）、步兵第二十二聯隊（旭川）、步兵第二十三聯隊（旭川）、騎兵第二聯隊（旭川）、野砲兵第二聯隊（旭川）、工兵第二大隊（旭川）、輜重兵第二大隊（旭川）、衛生隊（旭川）、第二師團通信隊（旭川）、第二師團野戰病院（旭川）、第二師團野戰自動車隊（旭川）

▲第六線軍（紅軍）　步兵第二十一聯隊（旭川）、步兵第二十二聯隊（旭川）、步兵第二十三聯隊（旭川）、騎兵第二聯隊（旭川）、野砲兵第二聯隊（旭川）、工兵第二大隊（旭川）、輜重兵第二大隊（旭川）、衛生隊（旭川）、第二師團通信隊（旭川）、第二師團野戰病院（旭川）、第二師團野戰自動車隊（旭川）

▲第七線軍（藍軍）　步兵第二十聯隊（札幌）、步兵第二十五聯隊（札幌）、步兵第二十六聯隊（札幌）、騎兵第二聯隊（札幌）、野砲兵第二聯隊（札幌）、工兵第二大隊（札幌）、輜重兵第二大隊（札幌）、衛生隊（札幌）、第二師團通信隊（札幌）、第二師團野戰病院（札幌）、第二師團野戰自動車隊（札幌）

▲第八線軍（茶軍）　步兵第二十七聯隊（函館）、步兵第二十八聯隊（函館）、步兵第二十九聯隊（函館）、騎兵第二聯隊（函館）、野砲兵第二聯隊（函館）、工兵第二大隊（函館）、輜重兵第二大隊（函館）、衛生隊（函館）、第二師團通信隊（函館）、第二師團野戰病院（函館）、第二師團野戰自動車隊（函館）

▲第九線軍（桃軍）　步兵第二十三聯隊（帶廣）、步兵第二十四聯隊（帶廣）、騎兵第二聯隊（帶廣）、野砲兵第二聯隊（帶廣）、工兵第二大隊（帶廣）、輜重兵第二大隊（帶廣）、衛生隊（帶廣）、第二師團通信隊（帶廣）、第二師團野戰病院（帶廣）、第二師團野戰自動車隊（帶廣）

▲第十線軍（灰軍）　步兵第二十一聯隊（旭川）、步兵第二十二聯隊（旭川）、步兵第二十三聯隊（旭川）、騎兵第二聯隊（旭川）、野砲兵第二聯隊（旭川）、工兵第二大隊（旭川）、輜重兵第二大隊（旭川）、衛生隊（旭川）、第二師團通信隊（旭川）、第二師團野戰病院（旭川）、第二師團野戰自動車隊（旭川）

▲第十一線軍（黄軍）　步兵第二十聯隊（札幌）、步兵第二十五聯隊（札幌）、步兵第二十六聯隊（札幌）、騎兵第二聯隊（札幌）、野砲兵第二聯隊（札幌）、工兵第二大隊（札幌）、輜重兵第二大隊（札幌）、衛生隊（札幌）、第二師團通信隊（札幌）、第二師團野戰病院（札幌）、第二師團野戰自動車隊（札幌）

▲第十二線軍（紫軍）　步兵第二十七聯隊（函館）、步兵第二十八聯隊（函館）、步兵第二十九聯隊（函館）、騎兵第二聯隊（函館）、野砲兵第二聯隊（函館）、工兵第二大隊（函館）、輜重兵第二大隊（函館）、衛生隊（函館）、第二師團通信隊（函館）、第二師團野戰病院（函館）、第二師團野戰自動車隊（函館）

▲第十三線軍（橙軍）　步兵第二十三聯隊（帶廣）、步兵第二十四聯隊（帶廣）、騎兵第二聯隊（帶廣）、野砲兵第二聯隊（帶廣）、工兵第二大隊（帶廣）、輜重兵第二大隊（帶廣）、衛生隊（帶廣）、第二師團通信隊（帶廣）、第二師團野戰病院（帶廣）、第二師團野戰自動車隊（帶廣）

▲第十四線軍（褐軍）　步兵第二十一聯隊（旭川）、步兵第二十二聯隊（旭川）、步兵第二十三聯隊（旭川）、騎兵第二聯隊（旭川）、野砲兵第二聯隊（旭川）、工兵第二大隊（旭川）、輜重兵第二大隊（旭川）、衛生隊（旭川）、第二師團通信隊（旭川）、第二師團野戰病院（旭川）、第二師團野戰自動車隊（旭川）

▲第十五線軍（淡紅軍）　步兵第二十聯隊（札幌）、步兵第二十五聯隊（札幌）、步兵第二十六聯隊（札幌）、騎兵第二聯隊（札幌）、野砲兵第二聯隊（札幌）、工兵第二大隊（札幌）、輜重兵第二大隊（札幌）、衛生隊（札幌）、第二師團通信隊（札幌）、第二師團野戰病院（札幌）、第二師團野戰自動車隊（札幌）

▲第十六線軍（淡黄軍）　步兵第二十七聯隊（函館）、步兵第二十八聯隊（函館）、步兵第二十九聯隊（函館）、騎兵第二聯隊（函館）、野砲兵第二聯隊（函館）、工兵第二大隊（函館）、輜重兵第二大隊（函館）、衛生隊（函館）、第二師團通信隊（函館）、第二師團野戰病院（函館）、第二師團野戰自動車隊（函館）

▲第十七線軍（淡緑軍）　步兵第二十三聯隊（帶廣）、步兵第二十四聯隊（帶廣）、騎兵第二聯隊（帶廣）、野砲兵第二聯隊（帶廣）、工兵第二大隊（帶廣）、輜重兵第二大隊（帶廣）、衛生隊（帶廣）、第二師團通信隊（帶廣）、第二師團野戰病院（帶廣）、第二師團野戰自動車隊（帶廣）

▲第十八線軍（淡灰軍）　步兵第二十一聯隊（旭川）、步兵第二十二聯隊（旭川）、步兵第二十三聯隊（旭川）、騎兵第二聯隊（旭川）、野砲兵第二聯隊（旭川）、工兵第二大隊（旭川）、輜重兵第二大隊（旭川）、衛生隊（旭川）、第二師團通信隊（旭川）、第二師團野戰病院（旭川）、第二師團野戰自動車隊（旭川）

▲第十九線軍（淡桃軍）　步兵第二十聯隊（札幌）、步兵第二十五聯隊（札幌）、步兵第二十六聯隊（札幌）、騎兵第二聯隊（札幌）、野砲兵第二聯隊（札幌）、工兵第二大隊（札幌）、輜重兵第二大隊（札幌）、衛生隊（札幌）、第二師團通信隊（札幌）、第二師團野戰病院（札幌）、第二師團野戰自動車隊（札幌）

▲第二十線軍（淡茶軍）　步兵第二十七聯隊（函館）、步兵第二十八聯隊（函館）、步兵第二十九聯隊（函館）、騎兵第二聯隊（函館）、野砲兵第二聯隊（函館）、工兵第二大隊（函館）、輜重兵第二大隊（函館）、衛生隊（函館）、第二師團通信隊（函館）、第二師團野戰病院（函館）、第二師團野戰自動車隊（函館）

▲第二十一線軍（淡藍軍）　步兵第二十三聯隊（帶廣）、步兵第二十四聯隊（帶廣）、騎兵第二聯隊（帶廣）、野砲兵第二聯隊（帶廣）、工兵第二大隊（帶廣）、輜重兵第二大隊（帶廣）、衛生隊（帶廣）、第二師團通信隊（帶廣）、第二師團野戰病院（帶廣）、第二師團野戰自動車隊（帶廣）

▲第二十二線軍（淡黒軍）　步兵第二十一聯隊（旭川）、步兵第二十二聯隊（旭川）、步兵第二十三聯隊（旭川）、騎兵第二聯隊（旭川）、野砲兵第二聯隊（旭川）、工兵第二大隊（旭川）、輜重兵第二大隊（旭川）、衛生隊（旭川）、第二師團通信隊（旭川）、第二師團野戰病院（旭川）、第二師團野戰自動車隊（旭川）

▲第二十三線軍（淡白軍）　步兵第二十聯隊（札幌）、步兵第二十五聯隊（札幌）、步兵第二十六聯隊（札幌）、騎兵第二聯隊（札幌）、野砲兵第二聯隊（札幌）、工兵第二大隊（札幌）、輜重兵第二大隊（札幌）、衛生隊（札幌）、第二師團通信隊（札幌）、第二師團野戰病院（札幌）、第二師團野戰自動車隊（札幌）

▲第二十四線軍（淡青軍）　步兵第二十七聯隊（函館）、步兵第二十八聯隊（函館）、步兵第二十九聯隊（函館）、騎兵第二聯隊（函館）、野砲兵第二聯隊（函館）、工兵第二大隊（函館）、輜重兵第二大隊（函館）、衛生隊（函館）、第二師團通信隊（函館）、第二師團野戰病院（函館）、第二師團野戰自動車隊（函館）

▲第二十五線軍（淡黄軍）　步兵第二十三聯隊（帶廣）、步兵第二十四聯隊（帶廣）、騎兵第二聯隊（帶廣）、野砲兵第二聯隊（帶廣）、工兵第二大隊（帶廣）、輜重兵第二大隊（帶廣）、衛生隊（帶廣）、第二師團通信隊（帶廣）、第二師團野戰病院（帶廣）、第二師團野戰自動車隊（帶廣）

▲第二十六線軍（淡緑軍）　步兵第二十一聯隊（旭川）、步兵第二十二聯隊（旭川）、步兵第二十三聯隊（旭川）、騎兵第二聯隊（旭川）、野砲兵第二聯隊（旭川）、工兵第二大隊（旭川）、輜重兵第二大隊（旭川）、衛生隊（旭川）、第二師團通信隊（旭川）、第二師團野戰病院（旭川）、第二師團野戰自動車隊（旭川）

▲第二十七線軍（淡紅軍）　步兵第二十聯隊（札幌）、步兵第二十五聯隊（札幌）、步兵第二十六聯隊（札幌）、騎兵第二聯隊（札幌）、野砲兵第二聯隊（札幌）、工兵第二大隊（札幌）、輜重兵第二大隊（札幌）、衛生隊（札幌）、第二師團通信隊（札幌）、第二師團野戰病院（札幌）、第二師團野戰自動車隊（札幌）

▲第二十八線軍（淡茶軍）　步兵第二十七聯隊（函館）、步兵第二十八聯隊（函館）、步兵第二十九聯隊（函館）、騎兵第二聯隊（函館）、野砲兵第二聯隊（函館）、工兵第二大隊（函館）、輜重兵第二大隊（函館）、衛生隊（函館）、第二師團通信隊（函館）、第二師團野戰病院（函館）、第二師團野戰自動車隊（函館）

▲第二十九線軍（淡藍軍）　步兵第二十三聯隊（帶廣）、步兵第二十四聯隊（帶廣）、騎兵第二聯隊（帶廣）、野砲兵第二聯隊（帶廣）、工兵第二大隊（帶廣）、輜重兵第二大隊（帶廣）、衛生隊（帶廣）、第二師團通信隊（帶廣）、第二師團野戰病院（帶廣）、第二師團野戰自動車隊（帶廣）

▲第三十線軍（淡黒軍）　步兵第二十一聯隊（旭川）、步兵第二十二聯隊（旭川）、步兵第二十三聯隊（旭川）、騎兵第二聯隊（旭川）、野砲兵第二聯隊（旭川）、工兵第二大隊（旭川）、輜重兵第二大隊（旭川）、衛生隊（旭川）、第二師團通信隊（旭川）、第二師團野戰病院（旭川）、第二師團野戰自動車隊（旭川）

▲第三十一線軍（淡白軍）　步兵第二十聯隊（札幌）、步兵第二十五聯隊（札幌）、步兵第二十六聯隊（札幌）、騎兵第二聯隊（札幌）、野砲兵第二聯隊（札幌）、工兵第二大隊（札幌）、輜重兵第二大隊（札幌）、衛生隊（札幌）、第二師團通信隊（札幌）、第二師團野戰病院（札幌）、第二師團野戰自動車隊（札幌）

▲第三十二線軍（淡青軍）　步兵第二十七聯隊（函館）、步兵第二十八聯隊（函館）、步兵第二十九聯隊（函館）、騎兵第二聯隊（函館）、野砲兵第二聯隊（函館）、工兵第二大隊（函館）、輜重兵第二大隊（函館）、衛生隊（函館）、第二師團通信隊（函館）、第二師團野戰病院（函館）、第二師團野戰自動車隊（函館）

▲第三十三線軍（淡黄軍）　步兵第二十三聯隊（帶廣）、步兵第二十四聯隊（帶廣）、騎兵第二聯隊（帶廣）、野砲兵第二聯隊（帶廣）、工兵第二大隊（帶廣）、輜重兵第二大隊（帶廣）、衛生隊（帶廣）、第二師團通信隊（帶廣）、第二師團野戰病院（帶廣）、第二師團野戰自動車隊（帶廣）

▲第三十四線軍（淡緑軍）　步兵第二十一聯隊（旭川）、步兵第二十二聯隊（旭川）、步兵第二十三聯隊（旭川）、騎兵第二聯隊（旭川）、野砲兵第二聯隊（旭川）、工兵第二大隊（旭川）、輜重兵第二大隊（旭川）、衛生隊（旭川）、第二師團通信隊（旭川）、第二師團野戰病院（旭川）、第二師團野戰自動車隊（旭川）

▲第三十五線軍（淡紅軍）　步兵第二十聯隊（札幌）、步兵第二十五聯隊（札幌）、步兵第二十六聯隊（札幌）、騎兵第二聯隊（札幌）、野砲兵第二聯隊（札幌）、工兵第二大隊（札幌）、輜重兵第二大隊（札幌）、衛生隊（札幌）、第二師團通信隊（札幌）、第二師團野戰病院（札幌）、第二師團野戰自動車隊（札幌）

▲第三十六線軍（淡茶軍）　步兵第二十七聯隊（函館）、步兵第二十八聯隊（函館）、步兵第二十九聯隊（函館）、騎兵第二聯隊（函館）、野砲兵第二聯隊（函館）、工兵第二大隊（函館）、輜重兵第二大隊（函館）、衛生隊（函館）、第二師團通信隊（函館）、第二師團野戰病院（函館）、第二師團野戰自動車隊（函館）

▲第三十七線軍（淡藍軍）　步兵第二十三聯隊（帶廣）、步兵第二十四聯隊（帶廣）、騎兵第二聯隊（帶廣）、野砲兵第二聯隊（帶廣）、工兵第二大隊（帶廣）、輜重兵第二大隊（帶廣）、衛生隊（帶廣）、第二師團通信隊（帶廣）、第二師團野戰病院（帶廣）、第二師團野戰自動車隊（帶廣）

▲第三十八線軍（淡黒軍）　步兵第二十一聯隊（旭川）、步兵第二十二聯隊（旭川）、步兵第二十三聯隊（旭川）、騎兵第二聯隊（旭川）、野砲兵第二聯隊（旭川）、工兵第二大隊（旭川）、輜重兵第二大隊（旭川）、衛生隊（旭川）、第二師團通信隊（旭川）、第二師團野戰病院（旭川）、第二師團野戰自動車隊（旭川）

▲第三十九線軍（淡白軍）　步兵第二十聯隊（札幌）、步兵第二十五聯隊（札幌）、步兵第二十六聯隊（札幌）、騎兵第二聯隊（札幌）、野砲兵第二聯隊（札幌）、工兵第二大隊（札幌）、輜重兵第二大隊（札幌）、衛生隊（札幌）、第二師團通信隊（札幌）、第二師團野戰病院（札幌）、第二師團野戰自動車隊（札幌）

▲第四十線軍（淡青軍）　步兵第二十七聯隊（函館）、步兵第二十八聯隊（函館）、步兵第二十九聯隊（函館）、騎兵第二聯隊（函館）、野砲兵第二聯隊（函館）、工兵第二大隊（函館）、輜重兵第二大隊（函館）、衛生隊（函館）、第二師團通信隊（函館）、第二師團野戰病院（函館）、第二師團野戰自動車隊（函館）

▲第四十一線軍（淡黄軍）　步兵第二十三聯隊（帶廣）、步兵第二十四聯隊（帶廣）、騎兵第二聯隊（帶廣）、野砲兵第二聯隊（帶廣）、工兵第二大隊（帶廣）、輜重兵第二大隊（帶廣）、衛生隊（帶廣）、第二師團通信隊（帶廣）、第二師團野戰病院（帶廣）、第二師團野戰自動車隊（帶廣）

▲第四十二線軍（淡緑軍）　步兵第二十一聯隊（旭川）、步兵第二十二聯隊（旭川）、步兵第二十三聯隊（旭川）、騎兵第二聯隊（旭川）、野砲兵第二聯隊（旭川）、工兵第二大隊（旭川）、輜重兵第二大隊（旭川）、衛生隊（旭川）、第二師團通信隊（旭川）、第二師團野戰病院（旭川）、第二師團野戰自動車隊（旭川）

▲第四十三線軍（淡紅軍）　步兵第二十聯隊（札幌）、步兵第二十五聯隊（札幌）、步兵第二十六聯隊（札幌）、騎兵第二聯隊（札幌）、野砲兵第二聯隊（札幌）、工兵第二大隊（札幌）、輜重兵第二大隊（札幌）、衛生隊（札幌）、第二師團通信隊（札幌）、第二師團野戰病院（札幌）、第二師團野戰自動車隊（札幌）

▲第四十四線軍（淡茶軍）　步兵第二十七聯隊（函館）、步兵第二十八聯隊（函館）、步兵第二十九聯隊（函館）、騎兵第二聯隊（函館）、野砲兵第二聯隊（函館）、工兵第二大隊（函館）、輜重兵第二大隊（函館）、衛生隊（函館）、第二師團通信隊（函館）、第二師團野戰病院（函館）、第二師團野戰自動車隊（函館）

▲第四十五線軍（淡藍軍）　步兵第二十三聯隊（帶廣）、步兵第二十四聯隊（帶廣）、騎兵第二聯隊（帶廣）、野砲兵第二聯隊（帶廣）、工兵第二大隊（帶廣）、輜重兵第二大隊（帶廣）、衛生隊（帶廣）、第二師團通信隊（帶廣）、第二師團野戰病院（帶廣）、第二師團野戰自動車隊（帶廣）

▲第四十六線軍（淡黒軍）　步兵第二十一聯隊（旭川）、步兵第二十二聯隊（旭川）、步兵第二十三聯隊（旭川）、騎兵第二聯隊（旭川）、野砲兵第二聯隊（旭川）、工兵第二大隊（旭川）、輜重兵第二大隊（旭川）、衛生隊（旭川）、第二師團通信隊（旭川）、第二師團野戰病院（旭川）、第二師團野戰自動車隊（旭川）

▲第四十七線軍（淡白軍）　步兵第二十聯隊（札幌）、步兵第二十五聯隊（札幌）、步兵第二十六聯隊（札幌）、騎兵第二聯隊（札幌）、野砲兵第二聯隊（札幌）、工兵第二大隊（札幌）、輜重兵第二大隊（札幌）、衛生隊（札幌）、第二師團通信隊（札幌）、第二師團野戰病院（札幌）、第二師團野戰自動車隊（札幌）

▲第四十八線軍（淡青軍）　步兵第二十七聯隊（函館）、步兵第二十八聯隊（函館）、步兵第二十九聯隊（函館）、騎兵第二聯隊（函館）、野砲兵第二聯隊（函館）、工兵第二大隊（函館）、輜重兵第二大隊（函館）、衛生隊（函館）、第二師團通信隊（函館）、第二師團野戰病院（函館）、第二師團野戰自動車隊（函館）

▲第四十九線軍（淡黄軍）　步兵第二十三聯隊（帶廣）、步兵第二十四聯隊（帶廣）、騎兵第二聯隊（帶廣）、野砲兵第二聯隊（帶廣）、工兵第二大隊（帶廣）、輜重兵第二大隊（帶廣）、衛生隊（帶廣）、第二師團通信隊（帶廣）、第二師團野戰病院（帶廣）、第二師團野戰自動車隊（帶廣）

▲第五十線軍（淡緑軍）　步兵第二十一聯隊（旭川）、步兵第二十二聯隊（旭川）、步兵第二十三聯隊（旭川）、騎兵第二聯隊（旭川）、野砲兵第二聯隊（旭川）、工兵第二大隊（旭川）、輜重兵第二大隊（旭川）、衛生隊（旭川）、第二師團通信隊（旭川）、第二師團野戰病院（旭川）、第二師團野戰自動車隊（旭川）

▲第五十一線軍（淡紅軍）　步兵第二十聯隊（札幌）、步兵第二十五聯隊（札幌）、步兵第二十六聯隊（札幌）、騎兵第二聯隊（札幌）、野砲兵第二聯隊（札幌）、工兵第二大隊（札幌）、輜重兵第二大隊（札幌）、衛生隊（札幌）、第二師團通信隊（札幌）、第二師團野戰病院（札幌）、第二師團野戰自動車隊（札幌）

▲第五十二線軍（淡茶軍）　步兵第二十七聯隊（函館）、步兵第二十八聯隊（函館）、步兵第二十九聯隊（函館）、騎兵第二聯隊（函館）、野砲兵第二聯隊（函館）、工兵第二大隊（函館）、輜重兵第二大隊（函館）、衛生隊（函館）、第二師團通信隊（函館）、第二師團野戰病院（函館）、第二師團野戰自動車隊（函館）

▲第五十三線軍（淡藍軍）　步兵第二十三聯隊（帶廣）、步兵第二十四聯隊（帶廣）、騎兵第二聯隊（帶廣）、野砲兵第二聯隊（帶廣）、工兵第二大隊（帶廣）、輜重兵第二大隊（帶廣）、衛生隊（帶廣）、第二師團通信隊（帶廣）、第二師團野戰病院（帶廣）、第二師團野戰自動車隊（帶廣）

▲第五十四線軍（淡黒軍）　步兵第二十一聯隊（旭川）、步兵第二十二聯隊（旭川）、步兵第二十三聯隊（旭川）、騎兵第二聯隊（旭川）、野砲兵第二聯隊（旭川）、工兵第二大隊（旭川）、輜重兵第二大隊（旭川）、衛生隊（旭川）、第二師團通信隊（旭川）、第二師團野戰病院（旭川）、第二師團野戰自動車隊（旭川）

▲第五十五線軍（淡白軍）　步兵第二十聯隊（札幌）、步兵第二十五聯隊（札幌）、步兵第二十六聯隊（札幌）、騎兵第二聯隊（札幌）、野砲兵第二聯隊（札幌）、工兵第二大隊（札幌）、輜重兵第二大隊（札幌）、衛生隊（札幌）、第二師團通信隊（札幌）、第二師團野戰病院（札幌）、第二師團野戰自動車隊（札幌）

▲第五十六線軍（淡青軍）　步兵第二十七聯隊（函館）、步兵第二十八聯隊（函館）、步兵第二十九聯隊（函館）、騎兵第二聯隊（函館）、野砲兵第二聯隊（函館）、工兵第二大隊（函館）、輜重兵第二大隊（函館）、衛生隊（函館）、第二師團通信隊（函館）、第二師團野戰病院（函館）、第二師團野戰自動車隊（函館）

▲第五十七線軍（淡黄軍）　步兵第二十三聯隊（帶廣）、步兵第二十四聯隊（帶廣）、騎兵第二聯隊（帶廣）、野砲兵第二聯隊（帶廣）、工兵第二大隊（帶廣）、輜重兵第二大隊（帶廣）、衛生隊（帶廣）、第二師團通信隊（帶廣）、第二師團野戰病院（帶廣）、第二師團野戰自動車隊（帶廣）

▲第五十八線軍（淡緑軍）　步兵第二十一聯隊（旭川）、步兵第二十二聯隊（旭川）、步兵第二十三聯隊（旭川）、騎兵第二聯隊（旭川）、野砲兵第二聯隊（旭川）、工兵第二大隊（旭川）、輜重兵第二大隊（旭川）、衛生隊（旭川）、第二師團通信隊（旭川）、第二師團野戰病院（旭川）、第二師團野戰自動車隊（旭川）

▲第五十九線軍（淡紅軍）　步兵第二十聯隊（札幌）、步兵第二十五聯隊（札幌）、步兵第二十六聯隊（札幌）、騎兵第二聯隊（札幌）、野砲兵第二聯隊（札幌）、工兵第二大隊（札幌）、輜重兵第二大隊（札幌）、衛生隊（札幌）、第二師團通信隊（札幌）、第二師團野戰病院（札幌）、第二師團野戰自動車隊（札幌）

▲第六十線軍（淡茶軍）　步兵第二十七聯隊（函館）、步兵第二十八聯隊（函館）、步兵第二十九聯隊（函館）、騎兵第二聯隊（函館）、野砲兵第二聯隊（函館）、工兵第二大隊（函館）、輜重兵第二大隊（函館）、衛生隊（函館）、第二師團通信隊（函館）、第二師團野戰病院（函館）、第二師團野戰自動車隊（函館）

▲第六十一線軍（淡藍軍）　步兵第二十三聯隊（帶廣）、步兵第二十四聯隊（帶廣）、騎兵第二聯隊（帶廣）、野砲兵第二聯隊（帶廣）、工兵第二大隊（帶廣）、輜重兵第二大隊（帶廣）、衛生隊（帶廣）、第二師團通信隊（帶廣）、第二師團野戰病院（帶廣）、第二師團野戰自動車隊（帶廣）

▲第六十二線軍（淡黒軍）　步兵第二十一聯隊（旭川）、步兵第二十二聯隊（旭川）、步兵第二十三聯隊（旭川）、騎兵第二聯隊（旭川）、野砲兵第二聯隊（旭川）、工兵第二大隊（旭川）、輜重兵第二大隊（旭川）、衛生隊（旭川）、第二師團通信隊（旭川）、第二師團野戰病院（旭川）、第二師團野戰自動車隊（旭川）

▲第六十三線軍（淡白軍）　步兵第二十聯隊（札幌）、步兵第二十五聯隊（札幌）、步兵第二十六聯隊（札幌）、騎兵第二聯隊（札幌）、野砲兵第二聯隊（札幌）、工兵第二大隊（札幌）、輜重兵第二大隊（札幌）、衛生隊（札幌）、第二師團通信隊（札幌）、第二師團野戰病院（札幌）、第二師團野戰自動車隊（札幌）

▲第六十四線軍（淡青軍）　步兵第二十七聯隊（函館）、步兵第二十八聯隊（函館）、步兵第二十九聯隊（函館）、騎兵第二聯隊（函館）、野砲兵第二聯隊（函館）、工兵第二大隊（函館）、輜重兵第二大隊（函館）、衛生隊（函館）、第二師團通信隊（函館）、第二師團野戰病院（函館）、第二師團野戰自動車隊（函館）

▲第六十五線軍（淡黄軍）　步兵第二十三聯隊（帶廣）、步兵第二十四聯隊（帶廣）、騎兵第二聯隊（帶廣）、野砲兵第二聯隊（帶廣）、工兵第二大隊（帶廣）、輜重兵第二大隊（帶廣）、衛生隊（帶廣）、第二師團通信隊（帶廣）、第二師團野戰病院（帶廣）、第二師團野戰自動車隊（帶廣）

▲第六十六線軍（淡緑軍）　步兵第二十一聯隊（旭川）、步兵第二十二聯隊（旭川）、步兵第二十三聯隊（旭川）、騎兵第二聯隊（旭川）、野砲兵第二聯隊（旭川）、工兵第二大隊（旭川）、輜重兵第二大隊（旭川）、衛生隊（旭川）、第二師團通信隊（旭川）、第二師團野戰病院（旭川）、第二師團野戰自動車隊（旭川）

▲第六十七線軍（淡紅軍）　步兵第二十聯隊（札幌）、步兵第二十五聯隊（札幌）、步兵第二十六聯隊（札幌）、騎兵第二聯隊（札幌）、野砲兵第二聯隊（札幌）、工兵第二大隊（札幌）、輜重兵第二大隊（札幌）、衛生隊（札幌）、第二師團通信隊（札幌）、第二師團野戰病院（札幌）、第二師團野戰自動車隊（札幌）

▲第六十八線軍（淡茶軍）　步兵第二十七聯隊（函館）、步兵第二十八聯隊（函館）、步兵第二十九聯隊（函館）、騎兵第二聯隊（函館）、野砲兵第二聯隊（函館）、工兵第二大隊（函館）、輜重兵第二大隊（函館）、衛生隊（函館）、第二師團通信隊（函館）、第二師團野戰病院（函館）、第二師團野戰自動車隊（函館）

▲第六十九線軍（淡藍軍）　步兵第二十三聯隊（帶廣）、步兵第二十四聯隊（帶廣）、騎兵第二聯隊（帶廣）、野砲兵第二聯隊（帶廣）、工兵第二大隊（帶廣）、輜重兵第二大隊（帶廣）、衛生隊（帶廣）、第二師團通信隊（帶廣）、第二師團野戰病院（帶廣）、第二師團野戰自動車隊（帶廣）

▲第七十線軍（淡黒軍）　步兵第二十一聯隊（旭川）、步兵第二十二聯隊（旭川）、步兵第二十三聯隊（旭川）、騎兵第二聯隊（旭川）、野砲兵第二聯隊（旭川）、工兵第二大隊（旭川）、輜重兵第二大隊（旭川）、衛生隊（旭川）、第二師團通信隊（旭川）、第二師團野戰病院（旭川）、第二師團野戰自動車隊（旭川）

▲第七十一線軍（淡白軍）　步兵第二十聯隊（札幌）、步兵第二十五聯隊（札幌）、步兵第二十六聯隊（札幌）、騎兵第二聯隊（札幌）、野砲兵第二聯隊（札幌）、工兵第二大隊（札幌）、輜重兵第二大隊（札幌）、衛生隊（札幌）、第二師團通信隊（札幌）、第二師團野戰病院（札幌）、第二師團野戰自動車隊（札幌）

▲第七十二線軍（淡青軍）　步兵第二十七聯隊（函館）、步兵第二十八聯隊（函館）、步兵第二十九聯隊（函館）、騎兵第二聯隊（函館）、野砲兵第二聯隊（函館）、工兵第二大隊（函館）、輜重兵第二大隊（函館）、衛生隊（函館）、第二師團通信隊（函館）、第二師團野戰病院（函館）、第二師團野戰自動車隊（函館）

▲第七十三線軍（淡黄軍）　步兵第二十三聯隊（帶廣）、步兵第二十四聯隊（帶廣）、騎兵第二聯隊（帶廣）、野砲兵第二聯隊（帶廣）、工兵第二大隊（帶廣）、輜重兵第二大隊（帶廣）、衛生隊（帶廣）、第二師團通信隊（帶廣）、第二師團野戰病院（帶廣）、第二師團野戰自動車隊（帶廣）

▲第七十四線軍（淡緑軍）　步兵第二十一聯隊（旭川）、步兵第二十二聯隊（旭川）、步兵第二十三聯隊（旭川）、騎兵第二聯隊（旭川）、野砲兵第二聯隊（旭川）、工兵第二大隊（旭川）、輜重兵第二大隊（旭川）、衛生隊（旭川）、第二師團通信隊（旭川）、第二師團野戰病院（旭川）、第二師團野戰自動車隊（旭川）

▲第七十五線軍（淡紅軍）　步兵第二十聯隊（札幌）、步兵第二十五聯隊（札幌）、步兵第二十六聯隊（札幌）、騎兵第二聯隊（札幌）、野砲兵第二聯隊（札幌）、工兵第二大隊（札幌）、輜重兵第二大隊（札幌）、衛生隊（札幌）、第二師團通信隊（札幌）、第二師團野戰病院（札幌）、第二師團野戰自動車隊（札幌）

▲第七十六線軍（淡茶軍）　步兵第二十七聯隊（函館）、步兵第二十八聯隊（函館）、步兵第二十九聯隊（函館）、騎兵第二聯隊（函館）、野砲兵第二聯隊（函館）、工兵第二大隊（函館）、輜重兵第二大隊（函館）、衛生隊（函館）、第二師團通信隊（函館）、第二師團野戰病院（函館）、第二師團野戰自動車隊（函館）

▲第七十七線軍（淡藍軍）　步兵第二十三聯隊（帶廣）、步兵第二十四聯隊（帶廣）、騎兵第二聯隊（帶廣）、野砲兵第二聯隊（帶廣）、工兵第二大隊（帶廣）、輜重兵第二大隊（帶廣）、衛生隊（帶廣）、第二師團通信隊（帶廣）、第二師團野戰病院（帶廣）、第二師團野戰自動車隊（帶廣）

▲第七十八線軍（淡黒軍）　步兵第二十一聯隊（旭川）、步兵第二十二聯隊（旭川）、步兵第二十三聯隊（旭川）、騎兵第二聯隊（旭川）、野砲兵第二聯隊（旭川）、工兵第二大隊（旭川）、輜重兵第二大隊（旭川）、衛生隊（旭川）、第二師團通信隊（旭川）、第二師團野戰病院（旭川）、第二師團野戰自動車隊（旭川）

▲第七十九線軍（淡白軍）　步兵第二十聯隊（札幌）、步兵第二十五聯隊（札幌）、步兵第二十六聯隊（札幌）、騎兵第二聯隊（札幌）、野砲兵第二聯隊（札幌）、工兵第二大隊（札幌）、輜重兵第二大隊（札幌）、衛生隊（札幌）、第二師團通信隊（札幌）、第二師團野戰病院（札幌）、第二師團野戰自動車隊（札幌）

▲第八十線軍（淡青軍）　步兵第二十七聯隊（函館）、步兵第二十八聯隊（函館）、步兵第二十九聯隊（函館）、騎兵第二聯隊（函館）、野砲兵第二聯隊（函館）、工兵第二大隊（函館）、輜重兵第二大隊（函館）、衛生隊（函館）、第二師團通信隊（函館）、第二師團野戰病院（函館）、第二師團野戰自動車隊（函館）

▲第八十一線軍（淡黄軍）　步兵第二十三聯隊（帶廣）、步兵第二十四聯隊（帶廣）、騎兵第二聯隊（帶廣）、野砲兵第二聯隊（帶廣）、工兵第二大隊（帶廣）、輜重兵第二大隊（帶廣）、衛生隊（帶廣）、第二師團通信隊（帶廣）、第二師團野戰病院（帶廣）、第二師團野戰自動車隊（帶廣）

▲第八十二線軍（淡緑軍）　步兵第二十一聯隊（旭川）、步兵第二十二聯隊（旭川）、步兵第二十三聯隊（旭川）、騎兵第二聯隊（旭川）、野砲兵第二聯隊（旭川）、工兵第二大隊（旭川）、輜重兵第二大隊（旭川）、衛生隊（旭川）、第二師團通信隊（旭川）、第二師團野戰病院（旭川）、第二師團野戰自動車隊（旭川）

▲第八十三線軍（淡紅軍）　步兵第二十聯隊（札幌）、步兵第二十五聯隊（札幌）、步兵第二十六聯隊（札幌）、騎兵第二聯隊（札幌）、野砲兵第二聯隊（札幌）、工兵第二大隊（札幌）、輜重兵第二大隊（札幌）、衛生隊（札幌）、第二師團通信隊（札幌）、第二師團野戰病院（札幌）、第二師團野戰自動車隊（札幌）

▲第八十四線軍（淡茶軍）　步兵第二十七聯隊（函館）、步兵第二十八聯隊（函館）、步兵第二十九聯隊（函館）、騎兵第二聯隊（函館）、野砲兵第二聯隊（函館）、工兵第二大隊（函館）、輜重兵第二大隊（函館）、衛生隊（函館）、第二師團通信隊（函館）、第二師團野戰病院（函館）、第二師團野戰自動車隊（函館）

▲第八十

草に眠る勇士

從軍詩日記（七）

時雨音羽

○月○日　晴

晝食は流石に大いに滿喫の現だつた。

實の如何は一應として、この勝を目前にぶつたら、ちよつとやそつとでは諦らめまいと、人情の時に眠眸でみながら僕は思つた。

夫程天幕の半頃の山々があちらこちらに重りあつてゐるのである。

晝食後、第○○聯隊の池田兵曹長に、○○内をされて戰跡を經つてこの陸の野に來かつた。

○○山を越へ○○部落には、敵軍に築まれた二千四百餘圓一門あり、彈藥の敵兵も生々しい。更に○○部落を經て、敵前上陸の地点に着れば、當時の池田部隊下だつた兵曹長は、如何にも感に堪へない樣子で說明してくれる。

この辺は、敵の名高地であれ、それあの辺り一帶が立つてゐるだらう、あそこ辺りで、そのシビにひつかかつて相當惱まされたものんでしたヨ、仕方がないから、敵ぐらゐの水に浸かつてこの砂濱めがけて、ニイ、神士さに突かゝつて、あの十手の立木の中から、物凄く敵ち出したんだ。こちらは砂濱で敵隊物は、一つもないのに、何ふ何しろ敵に、あの山から、あの辺の岸へかけて、素晴らしい敵地を殺けてゐたのですから、ナニ、草の葉のかげに斃れた勇士の墓標、雨にさらされ風にうたれ敵の文字さへ消えさうな

野の花は
誰にささやく
可愛い吾兒よ
あつばれだつた
逞い世から
たゞけやみ
眠んでる戰友の

はソレこの通りの草や立木の陰があるから堪つたらんぢやない、さいこゝが勇士の墓場です、敵傷兵の墓標、當時のまゝですよ。

見れば、より〳〵になつた鉄砲の圍りが、あちらこちらに、散乱してゐる。砂濱に吹かれて、敵の色も消へ去つた、勇士の墓標、敵は雄々といつたらに胸を打つ。更に小高い、

この邊んでゐる處は、敵の壕です。そしてそこに自分も、坦られたのだから、敵も滿足でせうこの辺は踏るものもない上に傾地で相當苦戰しました。

◆咲き出す少年群（古賀延男著）滿洲に生活する日本の少年少女、ことにとりまく環境の中にシヤの少年、滿人の子供などの潤滑な生活を主題にした好ましい小說である。この小說の中に描かれてゐる滿人子弟と日本人子弟との關係、外地に於ける日本人の生活態度、あるひは日本語の問題等、現實に住む我々が今切實に考へてゐることがらだけに、再び興味深いものがあるばかりか、敎へられる點が多い。著者は先頃滿洲から文部省圖書監修官に轉じた人で、この作品は氏の在滿時代の滿洲における勇士の墓を愛し、その將來に多大の關心を抱いてゐる一官吏の手によつて、かゝる秀れた作品が書かれたと云ふことは、特筆すべきことである。（四六判上製二三六頁・四〇圓東京市牛込區矢來町新潮社）

◆愛國勤勞振興整流同路（吉川政次郎著）資信機及び資信觀を解するためには、增税、國債、整流等の基礎問題に關する正確な知識を必要とする本書はこれらについて初學者向に解說したもの（四六判上製一五四頁・八〇東京市芝區田村町一ラヂオ社發賣）

◆物價高征服のお台所經濟實典　これを知ると知らぬでは經濟上に大變な違ひ！物價騰貴、品物不足の戰時下に、御婦人方の責任は重大、家持ち上手は、統後婦人の何よりの御褒美です。全部經驗ずみの發表でスグ實行出來る、月々貯金が殖える秘訣が澤山あり大評判。

◆見よく！豪華な附錄面白い小說役立つ名記事　湧き返る新年號!!

◆火野葦平氏と菊池寛氏の座談會　小畑少將の令姉あい樣の世話で結ばれた百衣の勇士五組の御夫婦が、あい樣を中心に和やかな席に、喜びと感謝を語り合つた、時局柄評判の讀物です。

◆白衣の勇士五組の明朗座談會　…小畑少將の令姉あい樣の世話で結ばれた百衣の勇士五組の御夫婦が、あい樣を中心に和やかな席に、喜びと感謝を語り合つた、時局柄評判の讀物です。

◆物資節約と廢品回收は婦人の力　商工大臣　伍堂卓雄

◆職場から見出されて幸福な結婚をした實話

◆子供の獨立心・忍耐心を養ふ導き方

◆不姙の原因と治療法就て二權威の對談會

◆小兒肺炎の豫防と家庭手當法

◆東本願寺大谷智子裏方の特別寄稿

◆皇紀二千六百年特別計畫　皇國の聖地巡禮　西條八十

◆特輯　お子樣用の實用毛糸編の誌上講習

◆特輯　五十夫人表發　わが家自慢の冬の家庭料理

特別附錄大四冊

新年號

婦人俱樂部

豪華な附錄！

面白い小說

役立つ名記事

湧き返る新年號!!

皇紀二千六百年特別計畫

皇國の聖地巡禮

西條八十

御學齡をお迎へ遊ばされた

皇太孫殿下の御日常

◆火野葦平氏と菊池寛氏の座談會

◆白衣の勇士五組の明朗座談會

◆物資節約と廢品回收は婦人の力　商工大臣　伍堂卓雄

◆職場から見出されて幸福な結婚をした實話

◆子供の獨立心・忍耐心を養ふ導き方

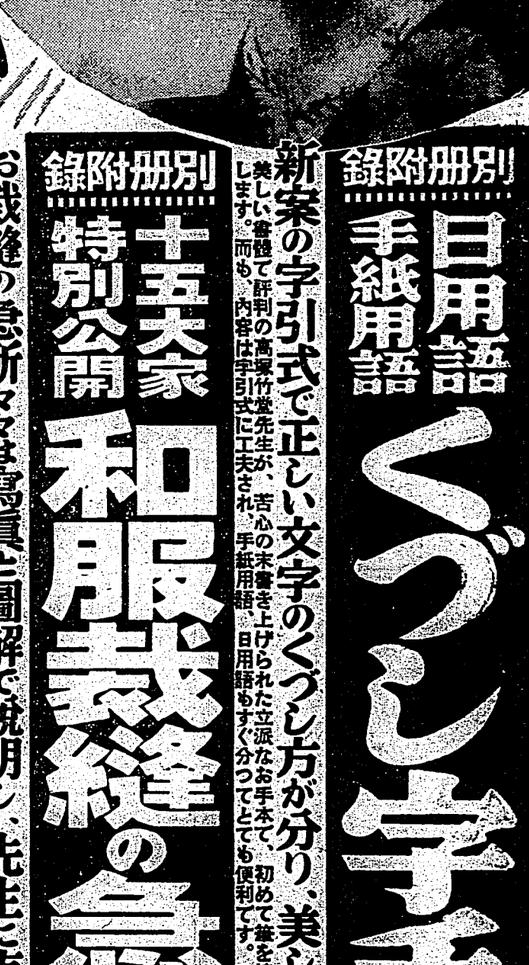
◆不姙の原因と治療法就て二權威の對談會

◆小兒肺炎の豫防と家庭手當法

◆東本願寺大谷智子裏方の特別寄稿

◆特輯　お子樣用の實用毛糸編の誌上講習

◆特輯　五十夫人表發　わが家自慢の冬の家庭料理



錄附冊別　日用語　手紙用語　くづし方手本

高橋竹堂書

新案の字引式で正しい文字のくづし方が分り、美しいかな字がすらく書けます。

錄附冊別　特別公開　和服裁縫の急所

お裁縫の急所々々は寫眞と圖解で說明し、先生に直接教はるやうによく分ります

錄附冊別　物價高征服の　お台所經濟實典

これを知ると知らぬでは經濟上に大變な違ひ！物價騰貴、品物不足の戰時下に、御婦人方の責任は重大、家持ち上手は、統後婦人の何よりの御褒美です。全部經驗ずみの發表でスグ實行出來る、月々貯金が殖える秘訣が澤山あり大評判。

錄附刷別　生後三ヶ月から六年生までの　兒ズボンと兒服

古い服を利用して丈夫で型のよいズボンとスカートが作れる國策附錄！

作り方は簡單で、この型紙の上に布をあてゝ、裁つて、そのまゝ縫へば、誰方にも立派なものが出來ます。運動盛りのお子樣に、古い服を利用下さい。

新掲載小說　現代小說　生産化粧　竹田敏彦

新掲載小說　時代小說　彩情記　吉川英治

圓滿御夫婦の圓滿法座談會。井出鉄一　ひろこ夫妻、池田敏雄　芳鳥すみ子夫妻の座談。

有名映畫評論家東夫人と大正美人はしくも床しました。

夫人々々の物語仕方せつかの仕事。

現代小說　妻の天國　菊池寛

現代小說　愛染椿　川口松太郎

現代小說　四季の夢　片岡鐵兵

現代小說　幾山河　武田麟太郎

感激小說　父なきあと　流れの底　氏原大作　窪川稻子

諺切小說

▲新年の來客應對心得十ヶ條

▲結婚一ヶ月前の花嫁準備心得

▲汚なかつた肌を美しくした經驗

▲二色刷特別寫眞　新年家庭明朗會議

福運を拓く法・掴む法　お金も、幸せにはどうすればよいか、我ものといふ面

定價八十五錢　〒十四錢　大日本雄辯會講談社　東京市芝區三九二〇

いざ下め求おく早おで店書の所近鎭

長期戰下を思召され 拜賀は元旦のみ

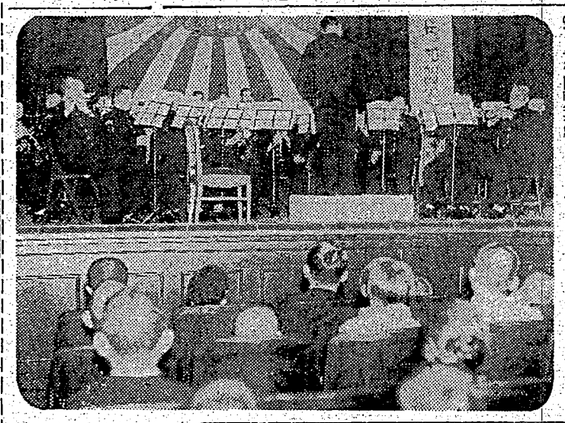
八日陸軍始觀兵式に行幸

【東京十九日發同盟】光輝ある紀元二千六百年の宮中新年諸儀式御次第は二の程御決定二十日附發表されたが、畏くも長期戰下を思召され 拜賀も元旦のみとせられ五日の新年宴會有位華族の賜饗はこの春御同樣 御取止めあらせられ八日 陸軍始の觀兵式に際しては代々木練兵場に行幸親しく聖戰下皇軍の精鋭を御覽遊ばされる

全島一齊 けふから防犯週間

繰出す自警防犯宣傳陣

防犯自警の眞の精神實を目的とする防犯週間は愈〻昨日より廿六日迄全島一齊に開催されるが、大會、講演、映畫、引廻、ポスター、ビラ、パンフレット等による官傳の外に樣々な斬新な官傳方法が計畫されてをり廿日は南北兩署とも樂隊による市中行進、北署では又



時局下第二年の 犯罪統計を觀る

スパイ關係はぐつと減る

檢擧は却つて増加 盜犯は激減

昭和十二年度檢擧の二十三萬五四人中で最も多かつたのが本年度は十月迄で既に二十二萬二千二百八十人の檢擧をなつて居る、而もこれは本年後半に入つてからの急激な増加を考慮すべき數字で、最近數箇月の檢擧數を見るに何れも昨年同期を凌駕するもの、最近著しく檢擧數の増加を示して居るのは、支那事變を通じ今年目を終へ第四年目を迎へんとして居るが當局に於ける犯罪の統計を見るに昭和十一年七月より十二年六月迄の一年間の件數七八、四二五件に對し本年六月迄の一年間は六四、〇五四件で、二三四件、二、六〇七人の減少であつたが昭和十二年七月より本年六月迄の一箇年は六四、三七二となり、〇、七倍の増加を示して居る、内地に於ては事變勃發後一年内は多少の増加を示して居るが二年目は減少し現在は事變以來引續き減少して居る

さて右の如く増加を示して居る各種犯罪檢擧者の檢擧は同片、賭博及風紀關係のもので竊盜は物資の統制或ひは不足に基くものとして、阿片、陸軍刑法の增加は警察氣分の增加であり時局認識の缺如であり、暴漢の減少であり、非常時局に伴ひ益〻民化の叫ばるる今日、新規に反時局的犯罪の增加は誠に遺憾の極みとして本島民の覺醒が望まれて居る、昭和十四年度に入つての本島犯罪の特長は各種物資の統制、製造制限、使用制限違反即ち、為替管理法等に絡む所謂經濟犯罪の增加であつて之は經濟警察に於て犯罪檢擧總數よりも指導に力を注いだ結果檢擧數の增加を示すもので竊盜は檢擧數の減少を示して居る

女學生の行軍

北一女 全島に魁ける試み

台北第一高女では來る二十三日早朝七時半各校生徒門に參集ひして長距離徒步行軍を行ふ事となつたが、行程四十キロ（十里）で、士壁方面より新店迄踏破するもので、午後四時半を滿期りとして以後校のものを廢止とし、時局下第二の試みとして健脚增進と前線將兵への感謝慰問の念願に勞めようとするもので、女學校としては全島初の試みである

小林少將歸還

【門司十九日發同盟】北支をはじめ大陸第一線を驅驅すること二箇年、赫々たる武勳を建て今回敎育總監部第一部長に榮轉した小林淺三郎少將は十八日門司入港の東亞丸で歸還した

犯人尋ね人捜査

南署の自警思想普及策

愈〻二十日から實施される防犯週間行事の一呼物として臺南署では二十四日午前七時より北一廳舍の玄關前に於て一般市民に擧證を呼掛ける事となつた、尚ほ當日は十數名の犯人尋ね人の顏寫眞を掲示して一般市民に擧證を求めると共に、捜査に協力した者には賞金を出すことになつた

聽衆を完全に魅了

公會堂の海軍軍樂隊演奏の夕

北市に於ける海軍軍樂隊演奏の夕は昨報の通り十九日午後七時半より公會堂第二大廣場に於て開催されたが、聽衆實に滿場立錐の餘地もなく、定刻前既に六十名を超え

話題の砂金層を見る (3)

寶庫を如何に開く？

全能力を以て鍵を求めよ

現地特派員 岩田踏査記

これは實に善しい話である、何となれば砂金の發見をもつて國立公園に指定される臺灣地區の地勢は複雑であるが、大體右の斷層と、タクキリ溪の溪流、發ぎつゝすばかりの斜線帶、これが**タロコ峽**を國立公園ならしめる價値である、八木、眞、官內各技手等を首班とする總督府鑛業課は目下トロンの既採に於て毎日調査を續けてゐる、この調査の仕事と云ふのはトロン坑の優つ鑛に十個ばかりの**試掘孔**を掘つて岩盤がいかなる地質になつてゐるか、高い處、低い處、中腹、又は右の多いところ少いところなどで、どんな具合に含金砂鑛が變つてゐるか、或は又ひよつとするとこの砂鑛層が二層乃至三層の岩盤で出來てゐはせぬか等とそんなことを調査一年乃至二年かゝる豫定にて目下鋭意調査中である

百億の砂金を埋藏するといふ臺灣砂鑛は凡そ二千五百萬圓の砂金價値を有する事は既に前述した通りであるが、それで最早問題は殘つた砂金層をいかに採掘するかといふ點に絞られた

スポーツに御無沙汰仕り候

サーちゃん物語

むかし前の韋駄天嬢

【新竹の陸上を賑わす人気「サーちゃん」を知らない者はあるまい。富岡氏が最近一百女の可愛い三年生だったサーちゃんが百米に十二秒フラットと云う素晴しい記録を出して噂の的となり、一躍全島女人競技界に名を馳せ、一百米決勝に於ても堂々一着に入賞、と云う様な快挙を成遂げたので、サーちゃんの名は一躍全島の人気の的となった。サーちゃんの過去の経歴を探ってみると、サーちゃんが小学校一年生の時から、既に運動会の花形選手として活躍していたのだと云う事が判明した。サーちゃんの過去の経歴を探ってみると、サーちゃんが小学校一年生の時から、既に運動会の花形選手として活躍していたのだと云う事が判明した。サーちゃんの過去の経歴を探ってみると、サーちゃんが小学校一年生の時から、既に運動会の花形選手として活躍していたのだと云う事が判明した。

**サーちゃんの人気振りを語るには、先ず彼女の生い立ちから述べねばならない。サーちゃんは富山さんが三年生の頃に誕生した富山さんの三人姉妹の第二番目の子供で、姉さんは今年女学校を卒業したばかりの